

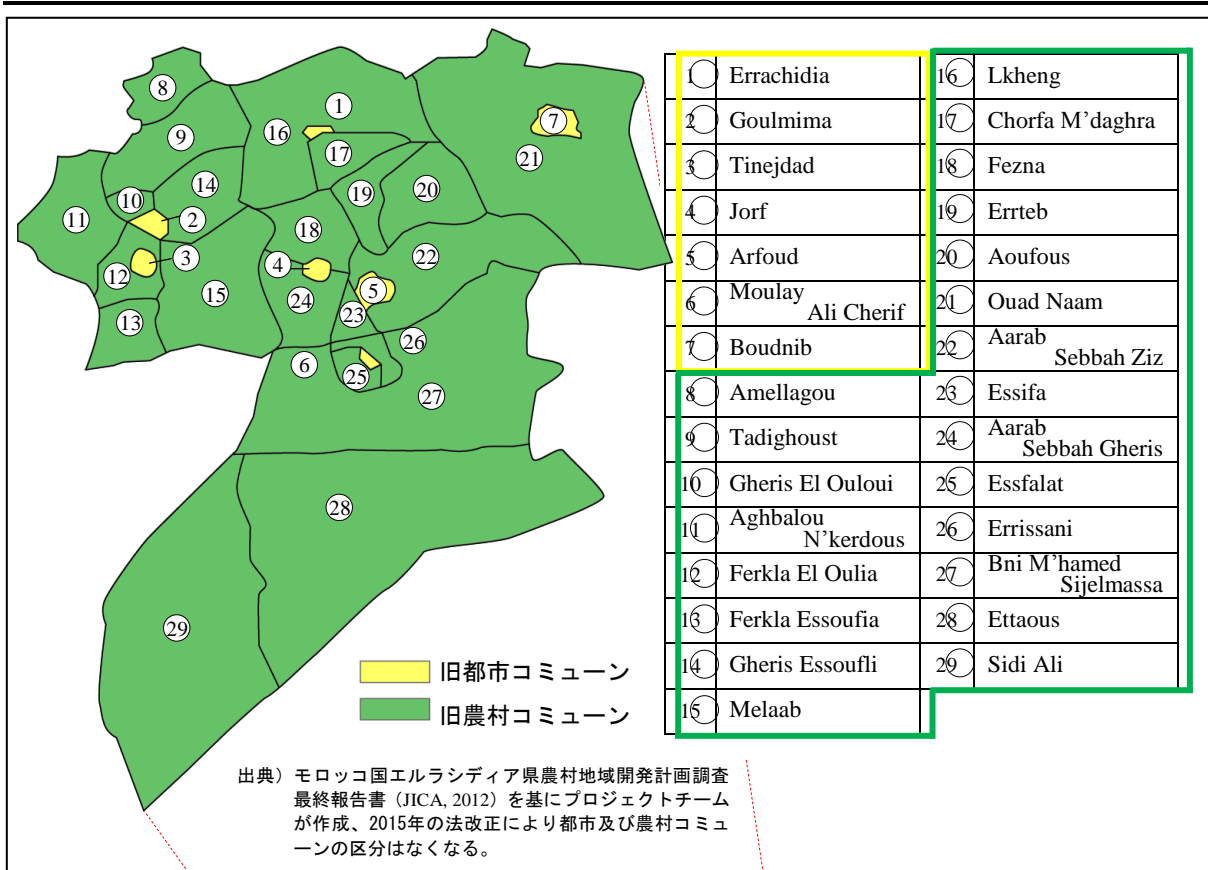
モロッコ国
内務省地方自治総局 (DGCL)
エルラシディア県開発政策推進・調整室 (CPDC)

モロッコ国
エルラシディア県
地域開発能力向上プロジェクト
プロジェクト業務完了報告書

平成 30 年 8 月
(2018 年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

NTCインターナショナル株式会社



出典) 仏外務省ホームページ (<http://www.diplomatie.gouv.fr/fr/dossiers-pays/maroc/>) を基にプロジェクトチームが作成

対象地域位置図と各コミューン区分

活動写真



2014年12月 協議委員会



2015年2月 SPP対象コミュニティとの協議



2015年4月 関係部署とのSPP対象地視察



2015年5月 第1回JCC



2016年1月 コミュニティプール施設の視察



2016年4月 CPDCの農村コミュニティ調査



2016年4月 IPPコミュニティ長研修



2016年4月 コミュニティ研修のテレビ取材



2016年10月 視察先の廃棄物処分場



2016年11月 コミュニースタッフPAC研修



2017年1月 第2回JCC



2017年7月 第2回本邦研修（川越市視察）



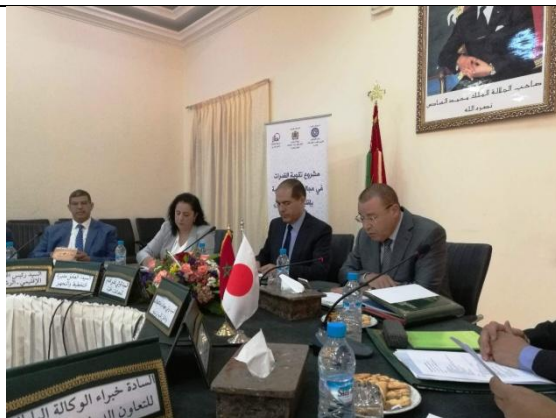
2017年7月 SPP候補地（Etaous）の視察



2017年11月 太陽光照明の視察



2018年3月 技術交流セミナー



2018年6月 最終セミナー

モロッコ国
エルラシディア県地域開発能力向上プロジェクト
プロジェクト業務完了報告書

目 次

対象地域位置図と各コミュニケーション区分	
活動写真	
目次	
付表付図リスト	
添付リスト	
略語表	
	ページ
第 1 章 プロジェクトの概要	1-1
1.1 対象地域の概況及び要請の背景.....	1-1
1.2 プロジェクトの目的.....	1-1
1.3 プロジェクトの概要.....	1-2
第 2 章 活動内容	2-1
2.1 成果1に関する活動.....	2-1
2.1.1 プロジェクトの実施体制の確立（活動1-1、1-2）	2-1
2.1.2 協議委員会の定期開催（活動1-3、1-4、1-5）	2-1
2.1.3 CPDCの年間活動計画の作成（活動1-6）	2-2
2.2 成果2に関する活動.....	2-5
2.2.1 SPPの支援（活動2-1、2-2、2-5、2-6、2-7、2-9、2-10、2-11、2-12、2-13）	2-5
2.2.2 PACの作成支援（活動2-3、2-4、2-14）	2-16
2.2.3 コミュニケーションの能力強化支援（活動2-8）	2-17
2.2.4 技術交流セミナー（活動2-15）	2-19
2.3 成果3に関する活動.....	2-20
2.3.1 IPPの選定と計画（活動3-1、3-2、3-3、3-4、3-5）	2-20
2.3.2 ティズニットのワークショップへの参加（活動3-6）	2-21
2.3.3 IPPの実施（活動3-7、3-8）	2-21
2.4 本邦研修.....	2-23
2.4.1 第1回本邦研修.....	2-23
2.4.2 第2回本邦研修.....	2-23
2.5 プロジェクトの運営管理に関わる活動.....	2-24
2.5.1 第1回JCCの開催.....	2-24
2.5.2 第2回JCCの開催.....	2-24

2.5.3 最終セミナー.....	2-25
第 3 章 プロジェクト実施上の課題・工夫・教訓.....	3-1
第 4 章 プロジェクト目標の達成度.....	4-1
4.1 成果の達成度.....	4-1
4.2 プロジェクト目標の達成度.....	4-2
4.3 上位目標の達成度.....	4-3
第 5 章 上位目標の達成に向けての提言.....	5-1
5.1 地方レベルでの働きかけ.....	5-1
5.1.1 CPDCの持続性の確保.....	5-1
5.1.2 事業予算の確保.....	5-1
5.1.3 情報共有の促進.....	5-2
5.1.4 市民社会との協働.....	5-3
5.2 中央レベルからの働きかけ.....	5-3
5.2.1 コミュニスタッフの能力強化の継続.....	5-3
5.2.2 DGCLの支援の必要性.....	5-3
付表付図リスト	
表 1.1 本プロジェクトのPDM.....	1-3
表 2.1 CPDCの年間活動計画表.....	2-4
表 2.2 パイロット・コミュニティ選定表.....	2-5
表 2.3 施設一覧と見積.....	2-9
表 2.4 施設と見積.....	2-11
表 2.5 施設一覧と見積.....	2-13
表 2.6 フェーズ分け.....	2-13
表 2.7 工種と見積.....	2-14
表 2.8 ロット分け.....	2-14
表 2.10 SPPの進捗状況.....	2-16
表 2.11 PAC及び事業の計画立案研修概要.....	2-18
表 2.12 コミュニ向け能力強化研修の実績.....	2-18
表 2.13 各コンポーネントの内容.....	2-20
表 2.14 各フェーズの内容.....	2-21
表 2.15 スタディツアーの日程.....	2-22
表 2.16 第1回本邦研修概要.....	2-23
表 2.17 第2回本邦研修概要.....	2-23
表 3.1 プロジェクト実施上の課題と対応.....	3-1
表 4.1 成果の指標及びその達成度一覧.....	4-1
表 4.2 プロジェクト目標の指標及びその達成度一覧.....	4-2

表 4.3	上位目標の指標及びその達成度一覧	4-3
図 2.1	複合施設Cタイプの構想図（出典：青年スポーツ省）	2-6
図 2.2	敷地全景と屋内プールの図面	2-9
図 2.3	質問票での参加者の評価結果	2-19

添付資料

1. PDM
2. 業務フローチャート
3. 詳細活動計画
4. 専門家派遣実績（要員計画）（最新版）
5. 研修員受入れ実績
6. JCC、中央レベルの委員会会議事録等（第1回JCC、第2回JCC）
7. 貸与物品リスト

略語表

略語	正式名称（仏語/英語）	日本語名
ABH	Agence de Bassins Hydrauliques	水利貯水池局
ANDZOA	L'Agence Nationale pour le Développement des Zones Oasiennes et de l'Arganier	オアシス地域・アルガン開発公社
C/P	Counterpart	カウンターパート
CPDC	Cellule de Promotion des Plans de Développement et de Coordination	(県庁) 開発政策推進・調整室
CTP	Comité Technique Provincial	県技術委員会
DCL	Division des Collectivités Locales	県地方自治部
DFCAT	Direction des Formations des Cadres Administratifs et Techniques	(DGCL内) 行政・技術スタッフ研修局
DGCL	Direction Générale des Collectivités Locales	内務省地方自治総局
DRH	Division des Ressources Humaines	県人材部
DPE	Direction de la Planification et de l'Équipement	(DGCL内) 計画施設局
ENA	École Nationale d'Agriculture de Meknès	国立メクネス農業研究所
ETC	Equipe Technique Communale	コミューン技術チーム
GDP	Gross Domestic Production	国内総生産
HDI	Human Development Index	人間開発指数
IPP	Inter-communal Pilot Project	コミューン横断型パイロット・プロジェクト
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
JTI	Japan Tobacco International	JTインターナショナル
MP	Master Plan	マスタープラン
ORMVAT	Office Régional de Mise en Valeur Agricole du Tafilalet	タフィラレット地域農業開発公社
PAC	Plan d'Action Communal	コミューンアクションプラン
PCD	Plan Communal de Développement	コミューン開発計画
PD	Project Director	プロジェクトダイレクター
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリクス
PP	Pilot Project	パイロット・プロジェクト
PRDP	Provincial Rural Development Plan	農村地域開発計画
R/D	Record of Discussion	討議議事録
SPP	Single Commune Pilot Project	コミューン単独型パイロット・プロジェクト
UNDP	United Nation Development Programme	国連開発計画

第1章 プロジェクトの概要

1.1 対象地域の概況及び要請の背景

モロッコはアフリカ大陸北西部に位置する立憲君主制国家である。地中海を挟んでヨーロッパに面した交通の要衝であり、その地理的利点を活用し、外資系企業等の進出によって近年、工業・サービス分野等で経済成長が続いていた。2013年のプロジェクト開始前のデータでは、国内総生産（Gross Domestic Production : GDP）（2012年）は、アフリカ大陸では6位の96億USドルに達した。世界銀行はモロッコを「中所得国」に分類しているが、国連開発計画（United Nation Development Programme : UNDP）の2012年の人間開発指数（Human Development Index : HDI）は187か国中130位に過ぎず、周辺諸国と比べても低い状態にあった。また、沿岸地域を中心とする都市部の開発が進んだことにより、モロッコ国内の地域格差は拡大していた。2007年の貧困率は都市部で4.8%と低くなっている一方、地方部は未だに14.4%と高い値を示しており、特に地方部では経済成長に取り残された国民が多数存在した。

本プロジェクトの対象地域であるエルラシディア県は、貧困率が40%を超える地域も存在した。日本の「対モロッコ国別援助方針」では「地域的・社会的格差の是正」を援助重点分野としている。国際協力機構（Japan International Cooperation Agency : JICA）も当時、エルラシディア県の地域開発に対する支援を積極的に展開しており、2009年から2012年まで開発計画調査型技術協力「エルラシディア県農村地域開発計画調査」（以下「開発調査」）を実施した。開発調査では、同県内の22コミューンから5つの「パイロット・コミューン」を選定し、コミューン開発計画（Plan Communal de Développement : PCD）の策定を支援するとともに、実証事業の実施によって、同県ならびにコミューン等の行政機関と住民組織の能力強化を行った。開発調査による活動の集大成として、モロッコ側のイニシアティブにより「エルラシディア県農村地域開発計画（Provincial Rural Development Plan : PRDP）」が作成された。

開発調査において、上記計画を推進するためには、同県の開発行政組織体制の強化が重要であることが確認された。そして、同県開発事業の計画策定・実施・評価・モニタリング、PCDの実施支援・モニタリング、同県ならびにコミューンの開発行政関係者の能力向上を主な役割とする専門部署の設置を提言した。エルラシディア県では提言を受け、新部署「県開発計画推進・調整室（Cellule de Promotion des Plans de Developpement et de Coordination : CPDC）」を新設した。このような部署の新設は県にとって初の試みであり、「県開発計画推進・調整室」に求められる機能、コミューン支援の人材育成等の観点から、同県の組織能力強化が喫緊の課題となっている。同県から「県開発計画推進・調整室」の能力強化に関する支援が日本に要請されたことから、JICAは2012年12月、2013年6月の2回にわたって詳細計画策定調査団を派遣し、プロジェクトのフレームワークを策定した。その後、2013年11月に討議議事録（Record of Discussion : R/D）を取り交わして、本プロジェクトの実施に至ったものである。

1.2 プロジェクトの目的

本プロジェクトはエルラシディア県において、コミューンを跨って実施される広域プロジェクト、PCDに基づくコミューンレベルでのプロジェクトの実施支援を通じて、県庁による開発計画の立

案・実施に関する効果的なモデルの確立を図り、これにより、開発計画の実施モデルの県内、及び他県での普及・利用に寄与するものである。

1.3 プロジェクトの概要

プロジェクトの概要を示すプロジェクト・デザイン・マトリクス（Project Design Matrix : PDM）はこれまで2回変更されており、Version 1はプロジェクト開始直後の2014年10月にモロッコ側と合意したものである。Version 2は、当初CPDCのよりどころとなると想定されていた県技術委員会（Comité Technique Provincial : CTP）の開催・運営は知事の専権事項で、本プロジェクトの運営については協議委員会を通じて行うこととなり、2015年5月27日の第1回合同調整委員会（Joint Coordination Committee : JCC）で、CTPに関わる成果1及び関連する活動を協議し、PDMの変更が了承された。その後、長く懸案となっていたCPDCの位置づけが2016年10月に明確になったことから、プロジェクト終了に向けてコミューン単独型パイロット・プロジェクト（Single commune Pilot Project : SPP）を5つ程度のコミューンに拡大するなどの新たな方向性について、2017年1月25日の第2回JCCで協議し、それに伴うPDMの変更が了承された（Version 3）。PDMのVersion 3を以下に、Version 1と2を添付資料1に示す。

表 1.1 本プロジェクトのPDM

Version 3, 2017 Jan. 25

Project Title: The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia
 Implementing Agency: General Direction of the Local Authorities (DGCL), Ministry of the Interior /
 Office for Promoting Development Plan and Coordination (CPDC), Province of Errachidia
 Target Group: Officials of Errachidia Province, local communes and civil society related to Implementation of PCD
 Period of Project: 3 years and 6 months (October 2014 - March 2018)
 Project Site: Province of Errachidia

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal			
Supporting mechanism of planning and implementing communal and inter-communal development projects, developed in the Province of Errachidia is applied to other provinces in the Draa-Tafilalet Region.	1) One or more provinces in the region organize exchange visits to Errachidia to learn about their experience. 2) At least 1 province in the region creates a CPDC to support its communes.	1) Projects report of Errachidia Province 2) Interview to DCLs of provinces in the region	
Project Purpose			
Capacity of communes in terms of planning, implementing, monitoring, evaluating and funding for development projects is strengthened through coordinated efforts of CPDC in Errachidia Province.	1) More than 60% of communes admit their capacity for development projects is improved through project activities. 2) More than 2 communes find financial source for development projects due to support of project activities.	1) Survey result 2) Project document	Policies and orientations of the government of Morocco on the advanced regionalization (La Régionalisation avancée) are not significantly changed.
Outputs			
1. Coordination system by CPDC among external services and divisions of the province is strengthened to support communes in the process of planning, implementation, monitoring and evaluation of development projects effectively.	1) Consultation committee meetings are held twice a year. 2) CPDC is officially positioned in the government structure.	1) Minutes of meeting of the consultation committee 2) Project document	
2. Supporting system of the province through CPDC is strengthened to enable communes to implement development projects following the PDCA (Plan, Do, Check, and Action) management cycle.	1) CPDC can support formulation of PAC for 5 communes/year. 2) CPDC can conduct seminars and trainings for 100 participants/year.	1) Project document 2) Project document	
3. Management capacity of CPDC is strengthened to enable to implement inter-communal projects.	1) CPDC can conduct seminars and trainings for 60 participants/year. 2) CPDC can conduct a technical visit/year to an inter-communal project.	1) Project document 2) Project document	

Activities	Inputs		Important Assumption
	(1) Input by JICA	(2) Input by the Province	
<p>1-1 To propose operational procedures for technical services and divisions to be involved in the development project</p> <p>1-2 To coordinate a meeting of Provincial Technical Committee (CTP) for establishment of a consultation committee for communal development</p> <p>1-3 To establish the consultation committee to assist communes in implementing development projects</p> <p>1-4 To hold the consultation committee meetings regularly</p> <p>1-5 To monitor technical assistance of the consultation committee</p> <p>1-6 To clarify and review the tasks and missions of the CPDC for bottom up communal development</p>	<p>(a) Dispatch of Experts - Team Leader / Organizational Management - Regional Development / Planning, Follow-up, Monitoring and Evaluation (b) Training The detailed plan of training in Japan or other countries will be determined later. (c) Machinery and Equipment The detailed list of machinery and equipment to be provided will be determined later.</p> <p>Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and the Province during the implementation of the Project, as necessary.</p>	<p>(a) Services of the counterpart personnel of JICA Experts administrative personnel; (b) Suitable office space with necessary equipment; (c) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the equipment provided by JICA; (d) All the necessary measures for implementation of the Project; (e) Expenses necessary for transportation within Morocco of the equipment as well as for the installation, operation and maintenance thereof</p>	
<p>2-1 To select a target commune</p> <p>2-2 To clarify the role of the communal organizations in charge of planning and implementing communal projects</p> <p>2-3 To support the formulation of commune development plan (PCD) and/or Action Plan and monitor its implementation</p> <p>2-4 To hold annual meeting for PAC follow-up by CPDC</p> <p>2-5 To select additional target communes</p> <p>2-6 To select pilot projects in target communes</p> <p>2-7 To support the target communes to secure budget for pilot projects</p> <p>2-8 To conduct training course on management of the development projects based on PDCA to persons concerned in province and communes, and establish training system to support communes</p> <p>2-9 To support elaboration of the implementation plan of the pilot projects</p> <p>2-10 To monitor the pilot projects</p> <p>2-11 To examine the pilot projects periodically by the consultation committee</p> <p>2-12 To evaluate the pilot project</p> <p>2-13 To analyze lessons learned of the pilot projects</p> <p>2-14 To organize seminars on implementing PCD and/or Action Plan following the PDCA methodology</p> <p>2-15 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Draa-Tafilalet Region</p>			<p>Pre-Conditions</p> <p>The Governor assigns the enough number of active personnel concentrating to promote PCDs and their budget in Errachidia Province.</p>
<p>3-1 To analyze relevant cases and laws to the inter-communal projects</p> <p>3-2 To select a pilot project</p> <p>3-3 To clarify the role of related entities and institutions to the inter-communal project</p> <p>3-4 To make legal arrangements for inter-communal project stipulated in the Communal Charter</p> <p>3-5 To conduct training course according to the target pilot project to persons concerned in province and communes</p> <p>3-6 To conduct technical visits for good practices of inter-communal projects</p> <p>3-7 To organize seminars on capacity development for an inter-communal project</p> <p>3-8 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Draa-Tafilalet Region</p>			

第2章 活動内容

2.1 成果1に関する活動

2.1.1 プロジェクトの実施体制の確立（活動1-1、1-2）

本プロジェクトのカウンターパート（Counterpart：C/P）であるCPDCは、従前の開発調査の提言に従って、当時の県知事、副知事のイニシアティブによって設立された組織（設立時のスタッフは5名）である。しかし、その位置づけが明確でなく、設立後本プロジェクトがスタートするまで休眠状態にあり、2015年末にはメンバーが1名のみとなった。一方、当初CPDCは副知事直轄の組織とされており、様々な活動に際して多忙な副知事の決裁を必要とするものの、協議の時間もほとんど取れず活動が進められない状況にあった。このため副知事に再三働きかけた結果、2016年7月以降メンバーは2名体制となり、2016年10月には正式に県地方自治部（Division des Collectivités Locales：DCL）配下に位置付けられた。DCL局長、CPDC室長代理、及び2名の担当者を中心に体制が構築され、十分ではないものの活動を行えるだけの体制が維持されている。

2.1.2 協議委員会の定期開催（活動1-3、1-4、1-5）

縦割り行政のモロッコにおいて、CPDCやJICA専門家が活動を開始するためには、県幹部、他部門の理解、了承が重要なため、当初のPDMでは、CPDCがCTPを主催し、プロジェクトの意思決定を進める計画であった。しかし、CTPの議事は安全管理にまでわたり、開催・運営は知事の専権事項で、CPDCによる運営管理は現実的ではないことが明らかとなった。このため、知事の提言に従い、プロジェクト実施上の時限つき機関として協議委員会を設立し、その後の活動を進めることとなった。下表にこれまで開かれた協議委員会の実績を示す。

日時	回数	概要
2015年 1月28日	第1回	これまでプロジェクト概要は関係者に広く説明してきたが、プロジェクトチームから再度プロジェクトの枠組み、概要について説明し、パイロット・プロジェクト（Pilot Project：PP）選定クライテリアについてコメントを求めるとともに、今後プロジェクトチームが関係者を訪問し、データ収集に当たる旨、説明した。会議の参加者が一定していないこともあり、基本的な質問、コメントも相次いだが、ようやくプロジェクトの内容が見えてきたと発言する参加者も見られた。選定クライテリアの合意には至らなかったため、早期に関係者への再説明、協議の場を設けることとなった。
2月20日	第2回	関係者から得られた情報を基に、単独コミュニティPPの対象コミュニティを選定した。
4月14日	第3回	SPP案を関係部署と共有し、資金支援に関する協議を行った。
2017年 1月17日	第4回	2016年10月のCPDCのDCL下への正式な配置を受けて、コミュニティ支援を拡大する方針となったことから、Errissani、Ettaousの両コミュニティへの支援を正式なものとするため、開催された。その結果、両コミュニティへの支援は了承された。
4月20日	第5回	更に追加の2コミュニティを了承し、合計4コミュニティにおけるSPPの内容を議論した。4コミュニティの代表が各々のSPPを説明し、それぞれについて概ね協議委員会の承認を得たため、予算取り及び追加調査等について、CPDCが主体となり実施支援を進めることとなった。

2.1.3 CPDCの年間活動計画の作成（活動1-6）

プロジェクトの実施体制及びプロジェクトの活動を通じ、CPDCの機能と活動目的を以下のように定義した。

➤ CPDCの活動目的

1. コミューン的意思決定者（議員）に対し、コミュニティ開発プロジェクト実施のための計画の重要性についての意識を高める。
2. 地元住民の開発に関する意思決定において、地域住民の統合を促進する。
3. 相乗効果、互助性、近隣コミュニティ（共同体）間の取り組みの共有等を可能にする地域プロジェクトを推進する。

➤ 具体的活動目標

- 1) コミューン機関によって実施され、地元関係者や団体によって支援されるような地域の関心事の明確化
- 2) コミューン開発能力の強化
- 3) 近隣コミュニティ間の協働（コミュニティの財産と共通の関心に関する地方自治体の相互協調）の推進と発展
- 4) 住民の期待、ニーズと上位（県、州、国）開発計画を主導する実施主体と協調
- 5) モロッコが開発と人権（環境、女性、児童など）について締結した国際協定に含まれる有利な条項の恩恵の享受

これらに貢献する個別の活動計画として、CPDCが今後も果たすべき役割を検討・協議し、プロジェクト最終年度である2018年度をモデルに年間活動計画を作成した（表 2.1）。主な内容は以下の4つである。なお、2018年6月21日実施の最終セミナーにおいて、CPDCは、DCL管理の下、今後もこれらの活動を継続することが確認できている。

(1) PAC作成支援

コミュニティのコミュニティアクションプラン（Plan d'Action Communal : PAC）作成状況をモニタリングし、受領したPACについては内容を確認し、必要な修正を要請する。内務省地方自治総局（Direction Générale des Collectivités Locales : DGCL）によるPAC作成ガイドラインが完成していない現状では、多くのコミュニティがPAC作成のための研修を要望している。そのためPACに関する研修やセミナーを通じコミュニティのPAC作成を支援する。

(2) SPPの支援

プロジェクト実施に当たりコミュニティ住民の要望を踏まえたプロジェクト形成を指導し、プロジェクト内容決定後は、必要なデータ等の収集のために、事前調査等の実施を支援する。その後は事業資金獲得に向けて、資金提供の可能性がある機関とコミュニティを仲介する。公的機関の予算

年度は1月から12月のため、コミューンが9月から11月にかけて予算申請できるよう、CPDCは上述したプロジェクト形成、必要書類の支援を事前に行う。

(3) 研修実施支援

地方分権の推進に伴い、コミューン職員の能力強化の必要があるが、十分に行われていないのが現状である。この必要性に応えるべく、CPDCは、行政・技術スタッフ研修局（Direction des Formations des Cadres Administratifs et Techniques : DFCAT）、県人材部（Division des Ressources Humaines : DRH）と協力し行っていく。

(4) セミナーの開催

PAC作成支援及びSPP実施支援に関する知見を県内外に広めるため、県内セミナー、技術交流セミナー、最終セミナー等を開催する。

表 2.1 CPDCの年間活動計画表

Detailed Schedule		As of June 2018											
Activities	Timing	2018											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2.2.1 Support for PAC Formulation													
(1) Monitoring the progress of the PAC preparation (list of the control of the progress of the PACs)	whole year	■											
(2) Revision of the PACs completed by the communes for the visa from Wali	whole year	■											
(3) Support communes which have not elaborated their PAC	whole year	■											
2.2.2 Support for Pilot project in the Target Communes													
(1) Preparing the necessary documents for pilot projects (project documents)	Now to July 2018	■											
(2) To discuss budget support for pilot projects with related partners	Now to July 2018	■											
(3) To assist elaboration of the implementation plan of the pilot project (implementation plan)	Now to July 2018				■								
2.2.3 Training for Communes													
(1) Implementation of training for municipal people	Now to June 2018	■											
2.2.4 Organize Seminars													
(1) Organize the seminar for exchange of experience on PAC	January 2018	■											
(2) Organize the exchange of experience seminar to present good practices to other Provinces in the Region of Daraa-Tafilalet	March 2018		■										
(3) Organize the closing seminar	June 2018					■							

2.2 成果2に関する活動

2.2.1 SPPの支援（活動2-1、2-2、2-5、2-6、2-7、2-9、2-10、2-11、2-12、2-13）

SPPは、当初計画では1件で、Ferkla El Oulia コミューンでのスポーツ・文化施設の建設を目指した。しかし、予算の確保が難しく、事業の進捗が得られないことから、CPDCの経験の蓄積が不十分な見通しとなった。このため、2016年8月からErrissani、Ettaousの2コミュニティ、2017年1月からは更にErrtebとFerkla Essouflaの2コミュニティを追加し、最終的には合計5件のSPPを支援することとなった。以下、コミュニティごとにSPPの活動内容を説明する。

(1) Ferkla El Oulia

SPP対象コミュニティの選定に当たり、第1回CTPにて知事から実務的な作業を行う組織を設立するよう提案があった。これを受け、2015年1月28日に第1回協議委員会を設立し、プロジェクトの枠組み、PP選定クライテリア、及び選定に必要な情報収集を行うことを説明した。2月20日、第2回協議委員会にて、エルランディア県の出先事務所等関係部署との協議から得られた情報を基に、以下の要領で単独コミュニティPPの対象コミュニティを選定した。コミュニティレベルで事業を実施する際は、コミュニティ技術チーム（Equip Technique Communale : ETC）やアソシエーションの能力が重要となることから、各関係部署には全コミュニティのETCの能力を3段階で評価して貰うとともに、活発なアソシエーションや各関係部署の出先があるか否かを評価し、下表に整理した。なお、本対象には開発調査が対象とした4コミュニティは含まれない。

表 2.2 パイロット・コミュニティ選定表

No.	Communes	ETC Evaluation									Tissu Associatif	Représentativité Services extérieurs
		Tourisme	Sante	ONEP	Edu. Nat.	ORMVAT	DCL	DAS	DT	TOTAL		
1	CR TADIGHOUST	2	1	1	0	1	0	2	2	9	Faible	Faible
2	CR MELLAB	1	0	1	0	1	0	1	0	4	Moyen	Moyen
3	CR AGHBALOU NKERDOUS	2	0		1	1	0	1	1	6	Faible	Faible
4	CR FERKLA EL OULIA	2	1	2	2	1	2	2	2	14	Moyen	Moyen
5	CR RISSANI	1	1	2	2	1	2	2	2	13	Faible	Moyen
6	CR TOUZ	2	1	2	1	1	2	2	2	13	Faible	Moyen
7	CR ES SFALET	1	1	2	2	1	1	1	1	10	Faible	Moyen
8	CR BNI M'HMED SIJILMASA	1	0	2	2	1	1	1	1	9	Faible	Moyen
9	CR AARB SBBAH ZIZ	2	1	2	1	1	1	1	1	10	Moyen	Moyen
10	CR AARB SBBAH GHRIS	1	1	2	2	1	0	1	0	8	Faible	Moyen
11	CR FEZNA	1	1	2	1	1	1	1	2	10	Faible	Moyen
12	CR GHRIS SOUFLI	1	1		1	1	1	2	2	9	Faible	Faible
13	CR AOULOUS	2	2	1	1	1	1	1	1	10	Moyen	Moyen
14	CR RTEB	2	2	1	2	1	2	1	2	13	Faible	Moyen
15	CR Es-Sifa	1	0	2	1	1	0	1	1	7	Moyen	Moyen
16	CR FERK ES-SOUFLA	1	1		2	1	2	2	2	11	Faible	Moyen

NB: Notes attribuées aux ETC (Equipes techniques communales)

2= Bonne

1=Moyenne

0= Mauvaise

ONEP (Office Nationale de l'EAU Portable) : 国営水道公社

DAS (Division des Affaires Sociales) : 県庁社会事業部

DT (Division Techniques) : 県庁技術部

これを受けて、2015年2月20日の第2回協議委員会で、単独コミュニケーションPPの支援対象としてFerkla El Ouliaコミュニティが正式に選定された。3月6日に、当該コミュニティとの協議に臨み、CPDCからは、本プロジェクトの概要、同コミュニティを選定した方法等を説明した。コミュニティ長は、庁内、市民団体、その他関係者と協議し、10日間程度でPCDから優先プロジェクトを選定することとした。

その後、予定より遅れたものの、コミュニティからPP案を受領した。彼らの要望は総合文化センターであり、社会的機能も保持しつつ、文化、スポーツのための総合施設が計画されている。これを受けて、3月30日にはコミュニティ長、関係機関（副知事室、教育省、青年スポーツ省、雇用社会省、POT）代表者がCPDCで協議した。この協議では、施設の計画・設計は、コミュニティ側が実施し、事業資金探しはプロジェクト側で行うことが確認された。関係省庁からも政策に沿っていれば資金支援が可能な旨申し出があった。

4月14日の第3回協議委員会で、3月30日にCPDCで行われた協議内容を、その他関係機関と共有した。同委員会において、PPの候補となっている総合文化センターの施設工事費用の半分について、青年スポーツ省から拋出される可能性が同代表から明言された。加えて、その他参加者からは、総合文化センターの質を高める活動（診療室、礼拝室、手工芸品販売スペース、図書室等）について、各関係部署からの支援が可能であるとの意見が出された。

4月30日に、協議委員会メンバーと共に、対象コミュニティの候補地を視察し、所有者、周辺環境、土地利用計画等を確認し、その使用について問題ないとの合意に至った。

対象コミュニティ、PP概要も決まったものの、C/Pからは、青年スポーツ省が施設の建設費用の半額を負担する場合、同省が直営で実施してコミュニティの能力向上にほとんど貢献しない可能性があるとの課題が挙げられた。このため、5月18日に、同省の県事務所長から情報を収集した。所長によると、手順としては、



図 2.1 複合施設Cタイプの構想図（出典：青年スポーツ省）

コミュニティ側がまずコストの5割を銀行口座に納め、その後本省が詳細計画、設計、工事に関わる調達作業を順次行っていく。基本的に省の定型スキーム（施設規模によってA～Eの標準的な施設仕様が定められている）があり、本省直営で実施することとなり、そこにコミュニティの巻き込みを図るのは困難であるとの意見を得た。スキーム変更のためには大臣と県知事の協議が必要となる。一方、5月27日のJCC前に、対象コミュニティのコミュニティ長と簡単な打合せを行い、省の県事務所長の説明（5割拋出の場合は直営）を伝えたところ、まずは、大臣と県知事とで交渉して貰い、コミュニティが事業のオーナーになるよう変更する道を模索する、それが不可能であれば他の資金を探す、との方向性が決定された。さらに、6月4日に、青年スポーツ省の県事務所長と打合せを行い、合意書のひな型は同所長から提供されるものの、CPDCがコミュニティと省との合意書原案を作成し、ラバトの本省に来年度予算の確保を陳情する方向で進めることとなった。また、6月19日及び22日には、CPDC、コミュニティ長、青年スポーツ省県所長、DCLで、コミュニティが事業実施

主体となる合意書原案の内容を詰め、DCLが最終的に形式を整えることとなった。

資金について、前述のとおり、青年スポーツ省が5割は出資するものの、残りの5割はコミューンが準備する必要がある。このため6月10日に有力な支援者となり得るオアシス・アルガンゾーン開発公社（Agence Nationale pour le Développement des Zones Oasiennes et de l'Arganier : ANDZOA）のエルラシディア所長らと協議した。出資については約束して貰えたものの、金額については計画の内容、インパクト次第で検討するとのことであった。

8月、C/Pは来年度予算の確保にかかる青年スポーツ省本省での陳情を行うため、速やかに副知事に出張要請を行ったが、了承を得られず、陳情は先送りとなった。9月4日の地方選挙を前に、コミューンへのコンタクトも禁じられ、ETCを含むコミューンとの協議も行うことが出来ない状況となった。

加えて、地方選挙に関し、コミューン長の選出、コミューン議会の設置が、9月一杯まで時間を要するため、10月頭からコミューンとの活動を再開することが困難であることも明らかとなった。一方、10月2日には上院議員選挙が予定されており、プロジェクトダイレクター（Project Director : PD）である副知事が多忙を極めることから、やはり活動の進捗は望めない見通しとなった。このため9月中旬から10月下旬までプロジェクトの活動を休止した。

11月5日に、選挙の影響により長期に亘り活動が停滞していたPPの進捗フォローを目的に、対象コミューンでの協議を実施した。これは、コミューン長はじめ主要な関係者の交代によって、プロジェクトについて再度説明の必要が生じたためである。同協議を受けコミューン側は、プロジェクトの重要性を認識し、実施に向けた残作業を進めることに快く応じた。

2016年1月26日、SPPの事業構想を策定中のFerkla El Ouliaコミューンの第3副コミューン長と、プロジェクトチームとで打合せを行った。第3副コミューン長は、スポーツ施設に加えて図書館、幼稚園、工芸館、宗教学校、祈祷場、子供公園などを単独で整備する考えであったところ、CPDCから、複合スポーツ施設は複数の文化施設機能を持っていることから効率的に利用して、当面は複合スポーツ施設の事業構想策定に注力し、不足の機能は将来的に整備していくよう助言した。

2月17日、コミューンからプロジェクトシート¹のドラフトを受領し、プロジェクトチームによる指導のもとCPDCが修正を加え、コミューンから省の担当者へ送付した。

3月3日、コミューン議会で事業内容が再検討され、計画が1,000万MAD（約1億円）規模に拡大された。再修正版のプロジェクトシートは、青年スポーツ省及びDGCLに送付され、予算申請が行われた。青年スポーツ省及びDGCLでそれぞれ50%及び15%を負担することで口頭にて合意を得た。

4月、コミューン長及び副コミューン長と協議し、CPDCとコミューンは、青年スポーツ省及びDGCLから内諾されたプロジェクトシート最終版を州知事及び新任の副知事に承認してもらうための説明機会を持った。それを受けて、プロジェクトシート最終版について、州知事の下、正式に青年スポーツ省及びDGCLに説明するよう指示があった。

¹ 事業概要、必要費用、内訳等をまとめた文書を指す。

6月、1日に青年スポーツ省、2日に計画施設局 (Direction de la Planification et de l'Equipement : DPE) を訪問し、CPDCメンバーからプロジェクトシート最終版に対する説明を行い、①建設地の現況に即した詳細見積書の作成、②予算規模が大きいことから、施設建設後の維持管理について省が関与すべきであることがコメントとして挙げられた。その後、青年スポーツ省にて、Ferkla El Oulia コミューンの代表者とプロジェクト専門家で、SPPについて省側と打合せを行った。省側は、コミュニティ側が合意書にサインした上で銀行口座に建設費の半額を用意することを条件に、水泳プールを含む施設の半額相当の6.4百万MAD (≒69百万円) を、第1フェーズとして2017年、第2フェーズとして2018年に半分ずつ支出することで了承した。ただし、コミュニティ長を始めとするコミュニティ議員は選挙で選ばれることから、政治的な一貫性が確保できないリスクがあるため、完成までの事業実施主体はあくまで省が責任を持つこととなった。また、合意書の原稿をコミュニティ側から省に送付し、内容を検討することとなった。

7月、DGCLのDPEにて、Ferkla El Oulia コミューン代表者とプロジェクト専門家で、SPPについて、計画セクションチーフと打合せを行った。DGCLからの拠出を想定している、建設費の15%の資金について、DGCL総局長に支出を要望するため、これまでの経緯を整理した文書を、コミュニティ側から提出することとなった。DGCL担当者への文書の提出・説明後、総局長向けの要望書を作成するよう求められ、原稿作成を支援した。

2017年2月6日、Ferkla El Oulia コミューンから、ANDZOAがSPPの支援に合意する旨の1月30日付レターを受領したとの連絡を受けた。実際の支援金額など具体的な条件についての協議は引き続き行われることとなった。

このように事業内容は確定し、概ね予算の用途が立ったものの、建設後の運営方法について、直営を主張する青年スポーツ省と新たな収入源としたいコミュニティの要望の間で調整が続けられている。

今後、コミュニティは運営方法について青年スポーツ省と合意し、同省、DGCLと資金提供に関する合意文書を取り交わすことになる。複合スポーツ施設の建設、運営という事業の特徴と、上述の管轄省の定型スキームがあることから、事業の実施、運営は省主体で行われる見込みである。

事業概要は以下に示すとおりである。

表 2.3 施設一覧と見積

Facility	Area M ²	Unit (DH)	Amount (DH)
Reception	20	5,000	100,000
Administration	50	5,000	250,000
Kindergarten	50	5,000	250,000
Youth center (reading room, computer, ...)	150	5,000	750,000
Workshops (08 rooms of 20 m ²)	160	5,000	800,000
Multipurpose rooms (02 rooms of 100 m ² including one dedicated to combat sports)	200	5,000	1,000,000
Conference room 100 m ²	100	5,000	500,000
Cloakroom M / F (sanitary, showers, ...)	80	5,000	400,000
Sports ground (handball, basketball, volleyball, tennis, mini football)	1,000	400	400,000
Green area	2,000	150	300,000
Outdoor paths	1,500	300	450,000
Closing wall	300	700	210,000
Outdoor semi-olympic pool	-	1,000,000	1,000,000
TOTAL			6,410,000

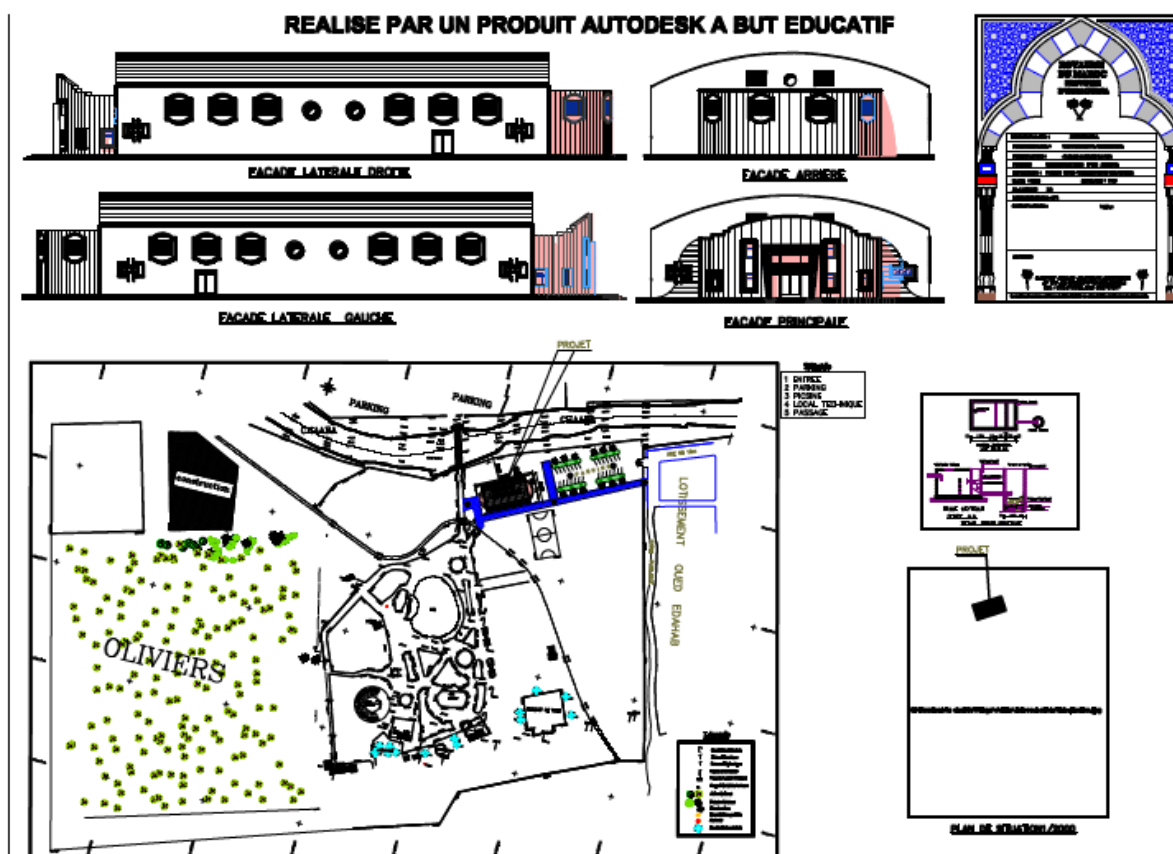


図 2.2 敷地全景と屋内プールの図面

(2) Errissani

2016年8月16日、州知事の指示の下、副知事、DCL部長、CPDCメンバーを集めた協議が行われた。プロジェクト専門家がプロジェクトの概要とともに現況を説明し、州知事を含め、SPPの対象コミ

ューンとして、Errissani及びEttaousの2つのコミューンの追加について合意を得た。これに伴い、Errissani、Ettousの2つのコミューンを訪問した。プロジェクト専門家が本プロジェクトの目的を説明し、活動への巻き込みについて了承を得た。コミューン側から、SPPとして実施希望の案件リストが提出されたものの、内容を確認しつつ更新し、SPPを選定していくこととなった。

2017年1月、第4回協議委員会が開催され、Errissani、Ettous両コミューンへの支援が正式に了承された。それに伴い両コミューンを訪問し、意見交換をするとともにSPPの候補サイトを視察した。Errissaniは郊外の高校からその周辺の4集落にソーラー街灯を設置する計画で、この時点では事業調査は行われていなかった。以下にその概要を示す。

SPP概要	
<p><ソーラー街灯予定サイト>特に女子生徒の安全な通学を確保するため、最近できた高校(生徒数約300、Rissaniの4 ksar、Beni Muhamedの10 ksarをカバー)と地域の集落(Rissaniの4 ksarを対象)をソーラー街灯で結ぶ計画である。一部には既存の街灯があるが、電気代が負担となっていることからソーラー電力に切り替えたい。付近でソーラー発電による揚水ポンプを導入した農家があり、参考にした。ソーラーパネルは地域でオーナーシップを持って管理していきたい。</p>	
	
最近できた高校	既存の街灯

2017年4月20日、県副知事会議室において、エルラシディア県下の関係機関代表者の参加の下、追加の2コミューン(Ferkla Essoufla、Errteb)を了承し、1月に追加された2コミューンと合わせて4コミューンにおけるSPPの内容を議論するための、第5回協議委員会が開催された。4コミューンの事業案が概ね協議委員会の承認を得たため、予算取り及び追加調査等について、CPDCが主体となり実施支援を進めることとなった。

その後、コミューン自身でプロジェクトドキュメント²完成に必要な事前調査を完了し、DCLがプロジェクトドキュメント案を受領して、CPDCとともに精査しつつ、DCL、県技術局、ONEによる現地確認作業が7月4日に実施された。特に問題なかったことから、プロジェクトドキュメントは最終化され、資金確保の作業を開始した。

2017年9月、資金提供依頼書を県議会とANDZOAに提出した。10月11日にANDZOAと協議し、一部資金を提供することで合意した。同時に一部プロジェクトドキュメントの修正と県議会等の他ドナーへのコンタクトを求められ対応することとなった。後日コミューン側から、修正したプロジェクトドキュメントを、州知事(Wali)を通じてANDZOAへ提出した。11月には、コミューン

² 計画策定のために実施したF/S、環境調査等の結果をとりまとめた報告書などの文書。

側から関係者の協力内容の取り決めを含むプロジェクトドキュメントを、州知事（Wali）を通じてANDZOAへ提出し、2018年2月には資金提供に同意する旨の正式回答を得た。県議会からの返答が遅れていたが、プロジェクト延長中の2018年6月にも50%の資金提供について口頭で了承を得て、合意文書の発行を待っている状況である。

今後、コミューンは県議会からの合意文書を用い、DCL/CPDCの支援の下、ANDZOAからも書面での合意を取り付け、事業の実現を目指すこととなる。

事業概要は以下に示すとおりである。

表 2.4 施設と見積

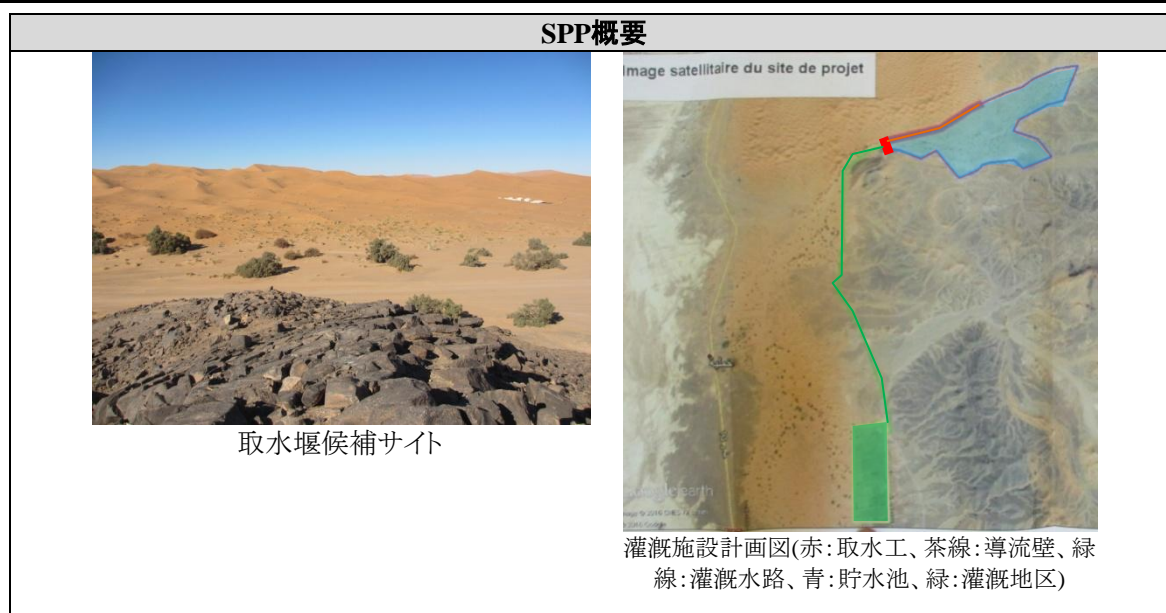
Facility	No.	Unit (DH)	Amount (DH)
Solar lighting system good quality complete with mat 6m consists of: - LED lamp - Solar pannel - AGM battery - Regulator - Installation fees including any suggestion	88	16,000	1,408,000
+5% price variation	-	-	70,400
TOTAL without TVA	-	-	1,478,400
Amount of TVA (20%)	-	-	295,680
TOTAL with TVA	-	-	1,774,080

(3) Ettaous

2017年1月、第4回協議委員会が開催され、Errissani、Ettous両コミューンへの支援が正式に了承された。それに伴い、Errissani、Ettousの両コミューンを訪問し、意見交換をするとともにSPPの候補サイトを視察した。Ettousは枯れ川に取水工を建設する計画で、モロッコのコンサルタントによる調査が行われており、事業費は3.3億円と見積もられていた。以下にその概要を示す。

SPP概要
<p>コミューンでは事業実現のためには適切な計画が必要との認識の下、今回の支援要請事業である灌漑施設について、これまで調査に予算を投入してきた。調査報告書によると事業費の積算総額は29百万DH(約3.3億円)。</p> <p><灌漑施設サイト> 枯れ川(ワジ)に取水工を建設し、毎年夏に3～5回ほどある雨水流出を貯水あるいは地下水涵養し、灌漑や生活用水に利用するとともに、近傍のハッターラ水源の涵養を図る計画。調査内容については、水省配下の水利貯水池局（Agence de Bassins Hydrauliques : ABH³）から技術支援を受けた。構造物としては、取水工、上流右岸の導流壁、下流の灌漑水路からなり、サイトはコミューン事務所から数kmの、シェビ大砂丘の南端。シェビ大砂丘西側のLake Srijjiは類似施設。</p>

³ 設備・運輸・ロジスティクス・水省の、水利庁（Secrétariat d'Etat chargé de l'Eau）配下



2017年4月20日の第5回協議委員会で、Ettaousを含む4コミュニティの事業案が概ね協議委員会の承認を得たため、予算取り及び追加調査等について、CPDCが主体となり実施支援を進めることとなった。その後、取水堰の建設に関し、近傍に砂丘が存在することから、環境アセスメントの必要性が指摘され、プロジェクトが支援することとなった。6月、環境調査について、過去に本プロジェクトの廃棄物処理研修を依頼した技術者に依頼することが決定された。これを受けてCPDCとプロジェクトの支援のもと、7月3日、現地調査が開始された。その後、住民への聞き取り調査着手のレターに県知事が署名したため、10月22日、聞き取り調査を開始し、11月には作業を終えた。これを受けて、州の環境委員会による報告会が12月26日に開催され、内容が承認された翌日27日に環境受容に関する文書が州知事（Wali）により署名された。

これを受けて、コミュニティはプロジェクトシートを作成し、資金確保の作業を開始した。2018年2月には、コミュニティ長がANDZOAと州議会に非公式に資金要請を行い、ANDZOAからは前向きな回答を得た。一方、連携の可能性を探るため、3月8日、Taouz副市長、DCL、CPDC、JICA専門家チームで、エルラシディアのABHを訪問した。本プロジェクトの概要やTaouzコミュニティのSPPの内容を説明したところ、技術面、資金面とも支援が可能とのことで、これまでの調査結果、事業計画等を共有し、事業化に向けて協議を行っている。

このようにプロジェクトの支援により、事業に必要な調査を完了し、それら資料を基にしたプロジェクトシートにて資金提供候補への働きかけを行い、事業実施資金の確保に一定の目処は立った。今後、コミュニティはANDZOA、州議会、ABHら支援候補と、技術面を含む支援内容の具体化と書面での合意を進めることとなり、DCL/CPDCがフォローを継続する。

事業概要は以下に示すとおりである。

表 2.5 施設一覧と見積

Facility	No.	Unit (DH)	Amount (DH)
Diversion Dam	1	1,071,040	1,071,040
Spillway with free sill and dissipation	1	480,035	480,035
Intake	1	69,979	69,979
Gravel trap	1	218,735	218,735
Transfer canal	1	4,491,020	4,491,020
Gabion guiding wall	1	1,680,000	1,680,000
TOTAL without TVA	-	-	8,010,809
Amount of TVA (20%)	-	-	1,602,162
TOTAL with TVA	-	-	9,612,971

表 2.6 フェーズ分け

Phases	Works	Amount (w/o TVA in DH)	Cummulative Amount (w/o TVA in DH)
PHASE I	Guide wall, right bank	1,680,000	1,680,000
PHASE II	Dyke and ancillary works	1,769,810	3,449,810
PHASE III	Intake and canal	4,560,999	8,010,809

(4) Ferkla Essoufla

2017年1月25日、JCCが開催され、合計5つ程度のコミューンでSPPの支援を行うことが決定された。これに伴い、上記3コミューンに加え、Ferkla Essoufla、Errtebの両コミューンがSPPの支援対象に選定された。その後、2017年4月20日の第5回協議委員会で、Ferkla Essouflaを含む4コミューンの事業案が概ね協議委員会の承認を得たため、予算取り及び追加調査等について、CPDCが主体となり実施支援を進めることとなった。

Ferkla Essouflaについては、Errissani同様、太陽光発電を利用した公共照明の取組みを進めることとなった。その後、コンサルタントの雇用について、コミューンの委託先選定作業、TOR・見積作成、などをCPDCが支援し、9月、技術者と調査内容について合意した。それを受けて、コミューンはF/S調査を10月2日に開始し、公共照明設置位置の地形図の作成を開始した。11月10日、照明の種類、価格等の検討のため、CPDCメンバー立ち会いの下、照明の供給業者を訪問し、実際に設置されているサイトを見学した。複数の製品を確認したものの、品質、単価、メンテナンス等検討すべき項目が多く、さらなる検討を重ねることとした。12月14日、技術者から複数の業者の公共照明の種類、価格等の比較説明が行われ、コミューンの選定クライテリアに基づいて選定がなされ、2018年1月、CPDCが最終レポートを受領し、コミューンは事前調査が完了した。事業規模が大きいことから、プロジェクトから、3つのフェーズに分けた場合の積算や位置図なども追加で提供してもらった。報告書、プロジェクトドキュメント、プレゼンテーション等全てをコミューンに手交済みである。これに基づいてコミューンは、CPDC支援の下、プロジェクトシートを作成した。

3月12日、Ferkla EssouflaコミューンのSPPに対して資金支援が可能かどうか、JICA専門家チームからJTインターナショナル(Japan Tobacco International:JTI)にコンタクトした。昨年一度訪問し、資金支援の可能性はあることは確認していたが、事業計画が策定され、ようやく具体的な接触をもつ

こととなった。2018年度は既に締め切られていたものの、2019年以降の支援に向けて協議を行っていくことをCPDCに引き継いだ。6月には、コミューンが環境省と州議会への予算拠出を打診するためにプロジェクト概要のプレゼンテーションを行ったが、これまでのところ回答は得られていない。

事業概要は以下に示すとおりである。

表 2.7 工種と見積

Works	No.	Unit Price (DH)	Amount (DH)
Earth work	1	47,400	47,400
Reinforced concrete	1	948,000	948,000
Complete solar kits	1	18,834,000	18,834,000
TOTAL without TVA	-	-	19,829,400
Amount of TVA (20%)	-	-	3,965,880
TOTAL with TVA	-	-	23,795,280

表 2.8 ロット分け

Lot	Site No.	Works	Length (km)	Amount (with TVA in DH)
1	1	The road area between the rout n.10 and Ksar Ait Moulay El Mamoune and Ait Bamaati	4.36	9,502,731
	2	Tizgaghine to the Koranic school.	1.65	
	3	The road link between Dar Oumera Kdima and Ksar Ait	1.48	
	4	The road section between rp no. 7106 to the community Aghbalou and Ksar Dar Oumera Jdida	1.16	
	Sub total		8.65	
2	5	The road section between the n.10 and Ksar Ktaa El Oued, Ait Ben Omar, El Mourabitine school and Ksar Lekssiba	7.13	7,832,887
3	6	The road section between rn 10 and the frontiers of the community of Ferkla El Oulia through Ksour Ait Maamer and	5.36	6,459,660
	7	The road link between Ksar Tigheffart and Ksar Gardmit commune Tinejedad through Oued Toudgha	0.29	
	8	Ksar Izilf	0.23	
	Sub total		5.88	
Total			21.66	23,795,278

(5)Errteb

2017年1月25日、JCCが開催され、合計5つ程度のコミューンでSPPの支援を行うことが決定された。これに伴い、Ferkla Essoufla、Errtebの両コミューンがSPPの支援対象に追加で選定された。その後、2017年4月20日の第5回協議委員会で、Errtebを含む4コミューンの事業案が概ね協議委員会の承認を得たため、コミューンによる予算取り及び追加調査等について、CPDCが主体となり実施支援を進めることとなった。

Errtebについては、パームヤシの残渣からコンポストを生産することによる付加価値化や、パームヤシの疾病伝播抑制などの取組みを進めることとなったが、事業化に向けた試験研究は、国立メ

クネス農業研究所（École Nationale d'Agriculture de Meknès : ENA⁴）が実施することで基本的に合意されていた。このため、ENA、ANDZOAと事前調査における役割を確認する会合が10月13日に開催され、ANDZOAがコンポスト製造プラットフォーム設置費用をENAに対し提供する事、その調査結果をJICAが支援するSPPとしてコミューンが活用可能であることを確認した。ENAの調査には環境影響調査は含まれていなかったため、これをプロジェクトとしてCPDCの支援のもとコミューンが実施する事でANDZOAと合意した。各々の役割を明確化した合意書をANDZOAが作成することとした。11月、その合意書案がANDZOAから共有され、これを基にコミューン、ANDZOA及びプロジェクトチームが参加した会合で修正案を作成した。12月、ANDZOA、タフィラレット地域農業開発公社（Office Régional de Mise en Valeur Agricole du Tafilalet : ORMVAT⁵）の関係機関の役割を明記した合意書の署名が完了し、技術アシスタントによる、コンポスト施設の環境調査を開始し、現地調査は2018年2月に完了した。5月30日にパブリックサーベイ実施の許可が下り、6月末時点で実施の最中である。今後は地方委員会の実施と討議議事録の作成及び県・州の環境委員会への提出を経て、州環境委員会での承認のプロセスに入る。事業全体の概要はENAの調査結果によるが、プロジェクト実施費用のうち50,000 MADの提供を受けることを県議会との間で基本合意済みである。

事業全体の調査・計画はENAが進めており、調査結果を基に、プロジェクトシートが作成されることとなる。

(6) プロジェクト終了時点での各SPPの進捗

2018年6月時点での進捗を下表に示す。Ferkla El Ouliaは実施費用のうち50%を青年スポーツ省が、15%をDGCLが拠出する内諾を得ている。またANDZOAから実施費用の一部を支援する合意文書を受領している。青年スポーツ省が施設の建設費用の半額を負担する場合、基本的に省の定型スキームがあるため完成までの事業の実施主体は省が行うことになる。EttaousはABHにプロジェクトドキュメントを送付し、技術面の協力に加え必要資金全ての支援が可能との返答を得た。今後は協力内容の文書合意を進める。Errissaniはオアシス地域・アルガン開発公社（L'Agence Nationale pour le Développement des Zones Oasiennes et de l'Arganier : ANDZOA）と州議会にプロジェクトドキュメントを提出し、資金拠出の基本合意を取り付けており、州議会からは必要資金の50%を提供する合意文書が発行される見込みである。残りの資金の確保に向けてANDZOAとさらなる協議を進めていく。Errtebについては、オアシス産品の付加価値化やパームヤシの疾病伝播抑制などの本体の活動はENAが開始したところで、事業化時期はそちらの活動に左右されることとなる。プロジェクト実施費用については県議会から50,000.DHの提供を受けることで基本合意済みである。Ferkla Essouflaについては資金提供先と協議中で、環境省と州議会へ予算拠出打診のためのプレゼンテーションを行い、返答を待っている。また、すでに資金提供の可能性を確認しているJTIとの協議を継続している。上述のように、複数のSPPにおいて資金提供先との交渉が加速し、その一部は資金確保に至っている。2017年7月の第2回本邦研修以降、DCL/CPDCのコミューンに対する事業実施予算の確保支援の成果が発現を始めている。

⁴ 農業省管轄で農業及び農村部における科学技術研究と農業技術者の訓練・開発支援を行う。本件ではパームヤシの疾病伝播抑制、オアシス産品の付加価値化等に関する調査・研究を行う。

⁵ 農業漁業省管轄化の農業、灌漑・排水、土地利用関連業務を通じ生産性の向上を主業務とする公的機関。

表 2.9 SPPの進捗状況

コミュニオン	プロジェクト概要	調査名(実施者)	進捗	今後の予定
Ferkla El Oulia	総合文化センター	フィージビリティ調査(コミュニオン) 詳細計画、設計は青年スポーツ省による	2016年3月にプロジェクトシートを青年スポーツ省及びDGCLに提出し、実施費用のうちそれぞれ50%、15%が拠出される内諾を得ている。2017年2月にANDZOAから実施費用の一部を支援することに合意。青年スポーツ省は費用の50%の拠出に合意し、さらに完成までの事業の実施主体は省が行う。	◆ コミュニオンの運営方法についての青年スポーツ省と合意、及び同省、DGCLと資金提供に関する合意文書の締結
Errissani	太陽光発電を利用した公共照明	フィージビリティ調査(コミュニオン)	コミュニオンからプロジェクトドキュメントをANDZOAに送付し、資金提供を要請し、基本合意した。州議会は50%の資金提供に合意し、合意文書の発行待ち。	◆ 県議会からの合意文書を用い、DCL/CPDCの支援の下、ANDZOAとの書面での合意取り付け
Ettaous	ハッターラ利用の頭首工建設	環境調査(本プロジェクトの支援によりコミュニオンが実施)	調査は2017年11月に完了し、年末に州環境委員会が開催され、調査結果は承認された。2017年12月27日には環境受容に関する文書が署名された。ABHにプロジェクトドキュメントを送付し、必要資金の提供と技術面での支援が可能との返答を得た。	◆ ANDZOA、州議会、ABHら支援候補と、技術面を含む支援内容の具体化と書面での合意締結
Ferkla Essoufla	太陽光発電を利用した公共照明	フィージビリティ調査(本プロジェクトの支援によりコミュニオンが実施)	調査は完了し、報告書、プロジェクトドキュメント、プレゼンテーション等は完成済み。民間企業であるJTIから2019年度以降の資金支援に向け、協議の機会を持つべく調整中。別途、環境省と州議会への予算拠出依頼のためにすでにプレゼンテーションを実施し、現在、各機関において審査中。	◆ CPDCがJTI、環境省、州議会等の資金提供先選定を支援
Errteb	コンポスト製造、デーツ飼料、木製品他、通路整備、保管庫建設	環境調査(本プロジェクトの支援によりコミュニオンが実施)	コンポスト製造に関し、各々の役割を定義した合意書の内容について、ANDZOA、ORMVAT、プロジェクトチーム、コミュニオンの4者が確認し、2017年12月15日に署名が完了した。これを受けて環境調査を開始、現地調査は終了している。2018年5月30日にパブリックサーベイ実施の許可が下り、実施中。本体の調査・試験はENAが実施中。プロジェクト実施費用のうち50,000.MADの提供を受けることを県議会との間で基本合意済み。	◆ 地方委員会の実施と討議議事録の作成及び県・州の環境委員会への提出→州環境委員会での承認のプロセスに入る ◆ 事業化時期はENAの調査・試験の進捗による

2.2.2 PACの作成支援(活動2-3、2-4、2-14)

(1) 進捗状況

2017年1月の第2回JCCを踏まえ、CPDCがPACの作成支援を担うこととなった。PACは2015年に施行が開始された新しい地方自治法により規定され、それまで用いられていたPCDより参加型プロセスと予算の担保が求められているものの、全国的にも完成事例はなく、DPEが作成中のガイドラインも未完で、手探りの中での作業となっている。エルランディア県では2018年6月時点で全29コミュニオンのうち、16コミュニオンが県に提出済み、12コミュニオンが作成中で、1コミュニオンが未着手である。完成したものはなく、CPDCからは事業予算の拠出についての合意文書の取り付け、市民団体との協議録の添付などの指導を行っているが、前者の取り付けは困難で、制度の整備が求

められるところである。

(2) 県内セミナーの実施

2018年1月25日にPACに関する県内セミナーを開催した。当日は発表者として、中央からDFCAT職員、経済財務省職員、DFCATの調整で講師として派遣されたメクネス職員、県から、DCL局長、CPDC室長代理、Ettaous及びFerkla Essouflaの両副市長、その他参加者として、CPDCメンバー、全コミューンのコミューン長及び副市長、県議会職員等総勢約80名が参加した。多忙のため、残念ながら州知事及び副知事は参加できなかった。

質疑応答では、特にコミューン長から活発な意見や質問が出された。主な意見及び質問を以下に示す。

- PAC作成を支援する本セミナーを県にはもっと早く開催して頂きたかった。
- 予算が乏しいコミューンにとって、PAC作成時に、各事業予算を確保することは非常に困難である。
- 予算確保の面でも、技術面でもPACを作成することは困難である。
- PAC作成及び事業実施に関し、技術面で県の関係部局に支援を依頼することがあるが、殆どが対応されない。
- コミューンとしては、PACを作成し県に提出したものの、進捗に関する情報がなく、状況が把握できない。
- PACを提出する前に、コミューン議会で内容を承認しており、提出後に修正を指示されても、対応が困難である。コミューン議会の承認前に、DCLまたはCPDCに内容を精査して頂きたい。
- PAC作成に向けてコミューン職員の能力強化が必要である。また、県にPACに関する専門家と講師が必要である。

以上に対し、DFCAT職員から、中央政府としてコミューンを支援する考えであること、コミューン職員の能力強化の改善が重要であること、コミューン職員の能力強化により、同職員がコミューンにおけるリソースパーソンとなり事業を実施していくべきであること、CPDCがコミューンでの事業実施促進に向けた1つのモデルであることが述べられ、特に、モデルの他県への普及の必要性も言及された。

2.2.3 コミューンの能力強化支援（活動2-8）

2016年10月にCPDCが正式にDCL配下に配置されたのを受け、当面の重要かつ効果的な活動として、コミューンへの研修を実施することとなった。

(1) PAC及び事業の計画立案研修

取り急ぎDGCL、DRHとの協力の下、コミューン向けのPAC及び事業の計画立案等についての研修を支援した。概要は下表のとおり。

表 2.10 PAC及び事業の計画立案研修概要

No.	地域	場所	コンポーネント	対象	開催日	参加者数
1	1	エルランディア	コミュニンスタッフへの PAC 及び事業の計画立案等	エルランディア周辺 コミュン(県北部)	2016年 11/21～ 24 (4日間)	23
	2	エルフード	同上	エルフード周辺 コミュン(県南部)	同年 11/28～ 12/1 (4日間)	22
	3	グルミマ	同上	グルミマ周辺 コミュン(県西部)	2017年 2/13～ 16 (4日間)	19
合計					12日間	64

研修対象者は、コミュニンにおいてPAC作成の担当職員とした。また、全4日間のうち、初日及び2日目を事業形成に係わる手法説明を目的に、本プロジェクトを事例に出しつつ、PDMの説明を入念に行った。3日目及び4日目は事業計画に係わる手法説明を目的にSWOT分析を含む参加型計画手法及びPACの説明を行った。当日は、対象コミュニン職員及びCPDCメンバー以外に、県職員及び議会職員が参加した。研修講師はDGCL負担で派遣され、その他会場準備等はプロジェクトが負担した。CPDCメンバーは、当該研修の実施調整を行いつつ研修に参加し、能力向上を図っている。

(2) コミュン職員の能力強化研修

2017年1月の第2回JCCを踏まえ、CPDCの有すべき権限・役割をDCL局長と協議し、DRHが計画する全コミュニン向け能力強化研修をCPDC・本プロジェクトが支援することとなった。当初DRHは2017年～2018年の2年間で全15タイトルの研修を計画していたものの、本プロジェクトの残り期間が限定されていることを踏まえ、DRHと協議し、一部の研修を実施した。講師派遣に関わる費用はDGCL負担とし、研修参加者に関わる費用は本プロジェクト負担とした。実績を下表に示す。

表 2.11 コミュン向け能力強化研修の実績

No.	内容	研修日程	研修日数	参加者数
2	入札管理、入札管理のモニタリング	3/13～16	4	26
3	個人間のコミュニケーション、演説	3/27～29	3	25
4	協力協定書の改訂	4/10～12	3	27
5	都市計画の策定	4/25～27	3	28
6	内部監査(収支)	5/8～10	3	23
7	地方自治体の財産管理(第1回)	9/26～28	3	26
8	地方自治体の財政管理	10/17～19	3	26
9	PAC 作成	11/7	1	27
10	地方自治体の財産管理(第2回)	11/8～9	2	27
11	アーカイブ管理	11/28～30	3	25
合計			28	260

研修対象者は、内容に沿って、各コミュニンが適任者を選出することとした。実施運営面に関し、講師派遣要請が適切に行われておらず研修当日に中止となる、研修参加者の交通手段の手配が初日に行われないなど、DRHとしても初めての試みであり、特に開始当初はトラブルもあったが、次第に改善された。また、彼ら自身が研修の必要性を認識することで、研修途中から、講師の指導風景を動画撮影・保存することが決定された。研修の持続性について、DRHでは、コミュニンと研修費用の負担に関する合意書締結を目指しており、県議会も同様にコミュニンとの協議を推進した。その結果、県議会が10万MAD、各コミュニンから1万MADまたは2万MADを負担する合意書案に全コミュニンが合意した。合意書案の有効期間は3年で、必要に応じて延長される。本合意書案はワリの承認を待ち、DFCATに送付される。

(3) 研修結果の評価

PAC及び事業の計画立案研修及び10回の能力強化研修の研修参加者に対し、研修の内容の妥当性、本来業務との関係性、研修期間、満足度、理解度、講師、本来業務における研修結果活用の可能性及び研修による能力強化の実感の計8項目に対する評価を、質問票を用い、確認した。研修の理解度は、研修講師と協議し、各内容の核となる項目を抽出し、その項目に対する理解度として確認した。各結果を下表に示す。

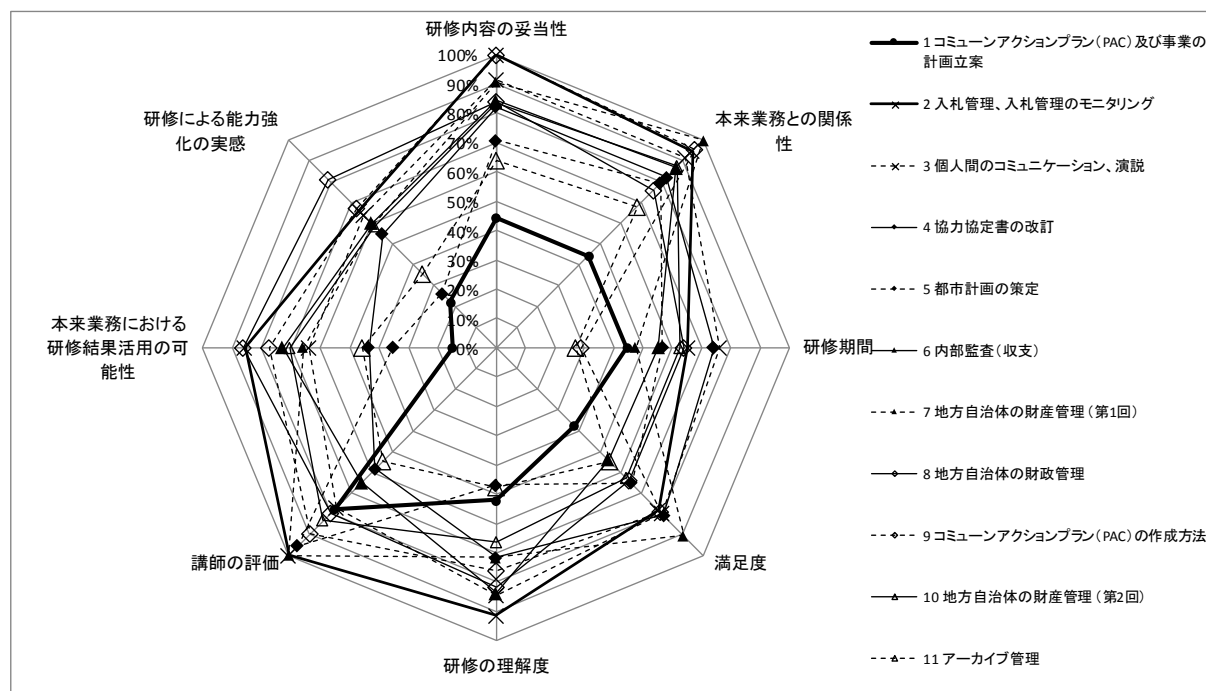


図 2.3 質問票での参加者の評価結果

参加者からの評価としては、PAC及び事業の計画立案に対する満足度が低いこと、全内容に対する研修による能力強化の実感が低いこと、都市計画の策定やアーカイブ管理等技術的な内容を含む研修結果は8項目全体が低いことが明らかとなった。特に初回のPAC及び事業の計画立案に対する本来業務への活用可能性や能力強化の実感が低く、各コミューンから再度研修として取り上げてほしいとの要望があり、第9回に再度実施したところ研修に対する評価は改善したといえる。以上から、PAC作成に対する継続的な能力強化に限らず、各能力に対する継続的な能力強化の機会創出の必要性があると判断できる。

2.2.4 技術交流セミナー（活動2-15）

2018年3月14日、プロジェクトの成果を報告し、実務レベル関係者での意見交換のための技術交流セミナーが開催された。参加者は州知事、副知事、州・エルラシディア県関係者、州内他県DCL職員、県内コミューン関係者、JICAモロッコ事務所、プロジェクト専門家チームなど約80人であった。開催日の決定がずれ込んだことなどから、ラバトのDPEからの参加は間に合わなかった。

当日は州知事のスピーチで開会し、JICAモロッコ事務所次長のスピーチが行われた。その後、CPDC室長代理が本邦研修の成果を含むプロジェクトの進捗を報告し、Ettaousコミューン副市長が

各種研修の効果、SPPの進捗等プロジェクトの効果を報告し、質疑応答に移った。

質疑応答では、コミューン関係者、県関係者等から活発な意見や質問が出された。主な意見及び質問を以下に示す。

- ◆ 事業実施のための資金獲得がネックとなっており、その点についての研修も希望する。
- ◆ 事業計画策定のための資金支援が望まれる。
- ◆ 財政、能力的に脆弱なコミューンにとって、コミューン横断的な取組みは有効であろう。JICAの支援を期待したい。
- ◆ 事業資金獲得のためには適切な事業計画が重要である。ただし、多くのコミューンは資金、パートナーに恵まれず、PACの実行は困難である。このため、日本のようにコミューンを支援する組織、ここではCPDCの活動の継続もしくは人員面、財政面の強化が望まれる。
- ◆ 本プロジェクトのCPDCの経験は他県にも広げるべきである。Ouarzazate県DCLは導入に興味を示し、今後も意見交換を行っていくこととなった。
- ◆ 多くのコミューン関係者にプロジェクトの取組みを理解・活用して欲しい。
- ◆ (県関係者から) コミューンには受益者のニーズに基づき適切な事業を実施して欲しい。
- ◆ 各種研修は有効でPAC作成能力も向上した。研修の効果の程度を教えて欲しい。
- ◆ EttaousのSPPは地元にとって正のインパクトが期待できる。JICAには観光客によって増加する環境負荷の軽減を支援して欲しい。

2.3 成果3に関する活動

2.3.1 IPPの選定と計画(活動3-1、3-2、3-3、3-4、3-5)

前知事から複数のコミューンを対象とする廃棄物処理分野の支援への期待が示されていたこと、JICAも当該分野の協力を実施中のため、連携による相乗効果の発揮が期待できること、エルラシディア県では廃棄物処理マスタープラン(Master Plan:MP)を作成中であることから、プロジェクトでは廃棄物処理に関わる支援を、本プロジェクトのコミューン横断型パイロット・プロジェクト(Inter-communal Pilot Project:IPP)として実施することを検討してきた。県都市計画・環境

部及び都市計画・環境省の各担当者と協議を重ね、これまでエルラシディア県内において実施例がないことから、コミューン担当者への技術研修と市民団体向けの啓蒙

表 2.12 各コンポーネントの内容

コンポーネント	内容
1. コミュニスタッフへの研修	コミューンの事務総長及び廃棄物処理担当の技術者に対し、廃棄物処理の技術的な研修を行う。
2. コミュニン長への研修	コミューンの意思決定者であるコミューン長に対し、廃棄物処理の原則、ガイドラインについて説明する。長期間の参加が難しいことから3回に分けて実施する。
3. 住民グループへの啓蒙活動	住民グループに対し、住民レベルでの廃棄物処理について理解を促す。
4. スタディーツアー	コミューン長及びコミューンスタッフが廃棄物処理に関する先進的な取組を行っている自治体を視察する。

活動の2種類の活動が本プロジェクトに期待されることが確認された。このため、表のような研修を実施することとした。大きくは4つのコンポーネントから構成され、様々な関係者に対し廃棄物処理について情報提供していくこととした。

2.3.2 ティズニットのワークショップへの参加（活動3-6）

2016年2月2日ティズニットにて、JICAが実施している「ティズニット市及び周辺コミュニティにおける廃棄物管理能力プロジェクト」によるワークショップに参加した。エルラシディアからは、CPDCのC/P、エルラシディア市廃棄物処理担当者、JICA専門家が参加した。当日は、当該プロジェクトのモロッコ側関係者が、コミュニティ横断廃棄物処理組織の形成、廃棄物収集や3Rについての住民の理解促進、埋め立て処理場の課題などについてプロジェクトの結果をプレゼンテーションし、その後、3つのグループに分かれて各々の課題について議論、結果を発表した。CPDCのC/P、エルラシディア市廃棄物処理担当者も議論に加わり、先進的な廃棄物処理の取組について学ぶ貴重な機会となった。

2.3.3 IPPの実施（活動3-7、3-8）

2016年、上記4つのコンポーネントについて、下表のような日程で4フェーズに分けて実施した。

表 2.13 各フェーズの内容

フェーズ	場所	開催日	コンポーネント	対象
1	エルラシディア	3月21～23日	1. コミュニスタッフへの研修	グルミマ、エルラシディア両セルクル内のコミュニティ（県の北半分）
2	エルフード	4月11～13日	1. コミュニスタッフへの研修	エルフード、リッサニ両セルクル内のコミュニティ（県の南半分）
	エルラシディア	4月14日	2. コミュニ長への研修	全コミュニティ長
3	エルラシディア	5月2～5日	3. 住民グループへの啓蒙活動	エルラシディア周辺のアソシエーション代表者
4	イフラン県	10月21～23日	4. スタディーツアー	全てのコミュニティ長及び関係コミュニティスタッフ

(1) 研修

研修の参加者からは、研修全体に対する満足度が高かったものの、今後も同様の研修が開催されることを期待する声が多かった。

4月14日にエルラシディア県内の全コミュニティ長に対する研修が、州知事の参加の下、実施された。廃棄物処分場の位置・数や複数コミュニティで設置するグループモン（一部事務組合・広域連合と類似の組織）に対する質疑応答が活発に行われた。

廃棄物研修のフェーズ3である市民社会向け研修が予定通り実施された。エルラシディア県が作成中の廃棄物処理MPのグループ1として規定されているErrachidia、Chorfa M' daghar、Lkheng及びAoufousの4つのコミュニティのアソシエーションの中から、環境関連の活動を行っているアソシエーションを選定した。各アソシエーションから2名の参加を要請し、地域ごとに2つのグループに分け、第1グループは5月2日・3日、第2グループは5月4日・5日として、研修を実施した。研修中は、参加者から活発な質問が出され、特にエルラシディア県の廃棄物処理MPで設立中のグループモン（一部事務組合・広域連合に類似の組織）に対する質問に対し、CPDCメンバーが回答した。一方、5月4日に発生した豪雨の影響で、研修最終日である5月5日の参加者は少ないものとなった。自己評価では、フェーズ1及び2同様、研修全体に対する満足度が高かったものの、今後も同様の研修に期待する声が多かった。

(2) スタディツアー

10月21日から3日間、イフラン県への先進地区視察を行った。参加者は、プロジェクトチーム、プロジェクトの現地傭人（環境関連コンサルタント）、CPDCメンバーの他、県議会議長、県議会の廃棄物担当職員、9コミューン（Errachdia、Arfoud、Tinejdat、Boudnib、Ettaous、Lkheng、Ouat Naam、Ferkla El Oulia及びErrissani）のコミューン長、5コミューン（Errachdia、Arfoud、Tinejdat、Boudnib、Ettaous）の技術系職員である。スケジュールを下表に示す。

表 2.14 スタディツアーの日程

日時	日程
10月21日	（エルラシディアから移動）イフラン県庁での家庭廃棄物管理グループ長との協議
10月22日	Azrouへの現地視察（処分場及び管理事務所）
10月23日	（エルラシディアへ移動）

本視察について、環境関連コンサルタントの雇用費用、参加者の移動に係るバス借上費及び宿泊費はプロジェクトが拠出した。一方、視察に参加した県議会議長は、エルラシディア県内の全コミューン長に対し、同様の視察の必要性を州知事に提案することを約束した。その際、移動費及び宿泊費を県議会が負担したい意向も明言した。

(3) 本邦研修からの学び

後述する2017年7月の第2回本邦研修のコース名は「都道府県による市町村の事業実施支援」で、その中では、市町村間の連携の仕組み、プロセス（市町村間の広域連合、合併、業務の委任、協定等）、市町村に対する支援の方策などを、講義とともに日本の地方の現場を視察した。奈良県や埼玉県で現場を見、関係者から直接話を聞くことで、市町村間の広域連携のメリット、デメリット、補助金制度などを学び、エルラシディアでのコミューンの広域連携の適用を検討する契機となった。

(4) コミュニの広域連携の取組み

これまでの取組みの成果を受け、また、DGCLによる複数コミューンを対象にした健康管理センターの設立支援の提案を契機として、エルラシディアを中心とした複数のコミューンが、広域連携の取組みを開始している。

健康管理センターは、2018年2月14日、DGCL主催のセミナーがエルラシディアで開かれたもので、複数のコミューンによる保健所のような施設の設立・運営の提案で、施設の建設費用の半分をDGCLが負担することとしている。エルラシディアは他地域と比べて危険な疾病が多いことなどからモデル県に選ばれ、全国でも最初のセミナーが開かれた。

Errachidia、Elkheng、Chorafa Mdaghra、Aoufous、Ertebの5コミューンは、セミナー後、コミューン連携のための新組織設立の検討を開始し、6月、合意書の調印に至った。新組織は、廃棄物処理事業、保健所事業、観光事業、公共車両管理事業の4事業を柱とし、エルラシディア県も巻き込んで、各組織が共同出資し運営する計画である。

2.4 本邦研修

日本の地方自治の取組みを学ぶため、2015年7月と2017年7月の2回、本邦研修を実施した。知事、副知事等の意思決定者の参加は先方の都合上実現しなかったものの、実務者レベルのプロジェクト関係者にとっては、先進的な日本の事例を学ぶ格好の機会となり、積極的な姿勢で研修に取り組んだ。第1回本邦研修の成果はその後のSPP支援活動に活用され、第2回本邦研修の成果はCPDCのワークプランに反映され、両研修とも有効であったと考えられる。

2.4.1 第1回本邦研修

第1回研修を2015年7～8月に実施した。研修概要を下表に示す。

表 2.15 第1回本邦研修概要

コース名称	モロッコ国別研修「地域開発に向けた行政の連携を学ぶアクションプラン策定研修」
研修期間	2015年7月26日～8月8日の14日間
研修員人数	4名（エルラシディア県副知事室職員、CPDCメンバー2名、内務省DGCL内DPEモニタリング課職員1名）
研修目標	モロッコ中央政府及びエルラシディア県の地域開発担当者が、日本の地域開発事業における市町村の事業実施体制手法の理解を深め、県と市町村、住民との連携を学び、地域レベルでの事業実施促進のためのアクションプランを策定・実践する。
研修で得られた成果・教訓	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域開発において、県とコミューンがそれぞれの役割を果たすことの重要性 ◆ 補完性の原理の順守と実践 ◆ 県のコミューンの能力を理解したうえで、権限を移譲する大切さ ◆ 自治体間の協力形態のあり方 ◆ 地域開発の手法

2.4.2 第2回本邦研修

(1) 第2回本邦研修の実施

第2回研修を2017年7月に実施した。研修概要を下表に示す。

表 2.16 第2回本邦研修概要

コース名称	モロッコ国別研修「都道府県による市町村の事業実施支援」
研修期間	2017年7月17日～7月29日の13日間
研修員人数	12名（エルラシディア県DCL局長、副知事室第1秘書、CPDC室長、CPDCメンバー2名、県議会計画担当職員、SPP対象市副市（村）長4名・市長秘書1名、内務省内DPE内DPE職員）
研修目標	CPDC及びその所属先であるDCL職員が講義、現地視察及び意見交換を通じ、日本の実績を学びつつ、エルラシディア県行政に生かす
研修で得られた成果・教訓	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市町村間の連携の仕組み、プロセス（市町村間の広域連合、合併、業務の委任、協定等） ◆ 市町村に対する支援の技術（計画立案） ◆ 調整力の高い組織化 ◆ 事業実施にあたっての協議とコミュニケーションの方法 ◆ あらゆるレベルにおけるパートナーシップ ◆ 市町村と県の関係が対等であることでのメリット ◆ 各地域の強みに基づく、地域間競争力 ◆ 参加型資金調達 ◆ 日本の非常に進んだ代表制民主主義

(2) 本邦研修の帰国報告会

2017年11月10日、第2回本邦研修の帰国報告会がラバト内務省本省にて行われた。モロッコ側からは、内務省DGCLの総局長（ワリ）、DPE局長、他部署の局長6名、エルランディア県副知事、県知事第1秘書、CPDC室長代理、CPDCメンバー2名が、日本側からは、JICAモロッコ事務所所長及び担当、専門家チームが参加した。

CPDCのプレゼンテーション後、エルランディア副知事から活動満了のためのプロジェクト延長の要請がなされた。DGCLのワリは、地方自治体合併や広域連合による地方自治体間の連携の重要性を認識すると同時に、モロッコにおける制度的制約についても言及し、モロッコの地方分権の支援に日本の専門家の派遣を要請する発言があった。同時に、廃棄物処理場や水資源分野での協力の可能性にも言及した。DPEからは上記ワリの発言に加え、別のプロジェクトに関する会合を近日中にJICAと設ける旨の発言があった。会の最後に、JICAモロッコ事務所所長からプロジェクトの延長と新規プロジェクトの要請につき、JICA本部に申し伝えることが約束され、閉会した。

2.5 プロジェクトの運営管理に関わる活動

2.5.1 第1回JCCの開催

2015年5月27日に、エルランディア県県庁知事会議室にて第1回JCCが開催された。当日の参加者は70数名で、そのほとんどが知事、副知事を始め、関係団体の長（県内の各部・各省庁出先機関、コミューン、広域行政長（カイド：カイド (Caid) の長、パシャ：セルクル (Cercle) の長等）、すなわち標準的CTPメンバーであった。そこでプロジェクトの内容・進捗を報告、県内の関係部署に具体的なイメージを伝えることができた。プレゼンテーションはCPDCメンバーが行い、プロジェクトの内容、進捗、成果1のCTPに関わる部分の修正、成果2のSPPの概要、成果3のIPPの方向性等について説明された。

質疑応答では、あるコミューン長から、SPPの対象コミューンの選定方法について疑問が挙がったが、副知事、DGCL代表、CPDCから、関係者との適切な協議プロセスの上で選定されており、PPを通じて得られた教訓を全コミューンに普及するのが本プロジェクトの骨子である旨、適切に説明された。

2.5.2 第2回JCCの開催

2017年1月25日、エルランディア県県庁知事会議室にて第2回JCCを開催した。当日の参加者は80名ほどで、日本側からは、JICA本部担当者、JICAモロッコ事務所所長及び担当、プロジェクト専門家、モロッコ側からは州知事、副知事を始め、関係団体の長（県内の各部・各省庁出先機関、コミューン、広域行政区）の参加を得た。CPDC、DCLの関係者とも本プロジェクトとの関わりが浅いことから、プレゼンテーションはプロジェクト専門家が行い、プロジェクトの進捗、残り期間の方向性、PDMの修正などを説明し、参加者からは基本的な理解が得られた。

質疑応答では、環境、廃棄物処理への留意、支援対象の全コミューンへの拡大、プロジェクト期間の延長、デーツ生産、エコツーリズムなどへのJICAの支援などの要望が出された。これに対して、プロジェクトの目的はあくまでCPDC、コミューンの能力強化であること、プロジェクト終了

までにまずは予定されている活動を円滑に実施するのが重要であること、JICAへの要望については今後検討することなどが説明された。これらを受けて、州知事から、今回の軌道修正、PDMの変更などは了承されたとして会議は閉会となった。

2.5.3 最終セミナー

2018年6月21日、プロジェクトの成果を報告し、政策決定者を含む関係者での意見交換のための最終セミナーが開催された。参加者は中央からDGCLの総局長（ワリ）及びDPEの局長、州知事、副知事、州・エルラシディア県関係者、州内他県DCL職員、SPP対象コミューン関係者、JICAモロッコ事務所、プロジェクト専門家チームなど約25人であった。

当日は州知事のスピーチで開会し、ワリ、JICAモロッコ事務所次長、専門家チームのスピーチが行われた。ワリのスピーチでは、プロジェクトの対象地域において、引き続き、JICAの協力が行われることに対する期待が述べられた。その後、CPDC室長代理がプロジェクトの成果を報告し、Ettaousコミューン副市長がSPPにおける予算取り等プロジェクトの効果を報告し、質疑応答に移った。

質疑応答では、コミューン関係者、県関係者等から活発な意見や質問が出された。主な意見及び質問を以下に示す。

- ◆ 事業実施に向けた財政支援について、少額であっても地域にとっては大きなインパクトがあるため、そこに期待したい。
- ◆ SPP については、特に事業選定の方法が適切であり、コミューンの人々にとって良いインパクトを与えた。
- ◆ 事業実施に対して更なる資金提供が必要である。
- ◆ 関係者の能力強化は有効なアプローチであった。
- ◆ SPP は、建設後のモニタリングまで実施して欲しい。
- ◆ 地域内には観光資源が多く、そのような事業を実施することも地域にとっては有益である。
- ◆ 過去の日本の協力で行われたハッターラ支援のような日本の技術優位性を示す事業を再度実施して欲しい。

専門家チームから、SPP について、県行政及び県議会それぞれが CPDC を通じ、継続して支援して頂きたいことを再提案し、県議会から、速やかな資金手当は困難なものの、公平性を保ちつつ、SPP を支援していくことが確認された。

最後に、ワリが閉式のスピーチとして、DGCLにとってエルラシディア県を含む地域における開発が重要であり、日本の知見を得るための研修や本邦研修を含んだ新規プロジェクトの形成に対する期待や、人的・自然資源を活用する生計向上が地域の開発に不可欠であり、それを達成するためのメカニズムが必要であることが述べられた。

第3章 プロジェクト実施上の課題・工夫・教訓

プロジェクト実施上の課題と、それに対する対応を下表に整理した。

表 3.1 プロジェクト実施上の課題と対応

分類	項目	小項目	課題	対応
プロジェクトの枠組み	プロジェクト目標	CPDCの位置づけ	CPDCは、開発調査の実施中にコミュニケーション支援に積極的であった県知事、副知事が設立した機関であるが、組織として正式な位置づけがなされていなかったことから実質的に何の権限も持っておらず、役割もあいまいで、開発調査後は実質的に休眠状態にあった。したがって実績もほとんどなく、県庁の中でもその存在はほとんど知られていなかった。	PDでもある副知事にはCPDC位置づけを明確化するよう要請してきた。その結果、2015年1月に副知事室配下の組織として正式承認された。しかし、県の組織上の一部局として位置づけられたわけではなく、あくまで副知事室の中での存在でしかなかったため、後述するように、当時のPDである副知事の交代を機に、県の組織上の正式な部局として活動を促進できる方策を検討・提案する取組みを継続した。その結果、2016年10月にDCL配下の組織として、正式了承された。
		CTPの運営管理	縦割り行政のモロッコにおいて、CPDCや専門家チームが活動を開始するためには、県幹部、他部門の理解、了承が重要なため、成果1で規定されている、CPDCによるCTPの運営管理がまずもって必要であった。しかし、CTPの議事は安全管理にまでわたり、開催・運営は知事の専権事項で、CPDCによる運営管理は現実的ではないことが明らかとなった。	知事の提言に従い、プロジェクト実施上の時限つき機関としてCTPのメンバーが参加する「協議委員会」を設立し、その後の活動を進めることとなった。
		事業実施支援	CPDCがコミュニケーションの開発事業支援を行う上で知見を十分に蓄積できていない。	支援対象として4コミュニティを追加し、知見・経験を蓄積した。 →コミュニティ開発に係るノウハウや教訓を整理し、事例集として整理した。
成果2	事業実施の予算確保	事業実施の予算確保	本プロジェクトにおいては、持続性を確保するため、各パイロット事業の予算はモロッコ政府もしくは他ドナーの予算を活用することとされており、プロジェクト予算の中にパイロット事業実施のための予算は含まれていない。従って、プロジェクト開始当初からパイロット事業実施のための予算確保が課題であった。	モロッコ側関係者に本プロジェクトの方針を説明したが、理解を得るのはなかなか容易ではなかった。一方、プロジェクトでは、政府機関であるANDZOA、州議会を柱に協議を通じて事業予算の拠出の可能性を探った。その結果、これまでに、CPDCの指導によりパイロットコミュニティの大半は事業予算の拠出について州・県議会や国の機関などとの間で基本合意に達しており、1コミュニティは合意文書の発行を待っている状態である。 →事業予算拠出の合意取り付けに成功したプロジェクトドキュメントを、他コミュニティが参考にできるよう、コミュニティ開発に係るノウハウ集として整理した。
		PAC作成支援	2015年10月の地方分権に関する法改正においてコミュニティは、参加型かつボトムアップで事業を形成するPACを策定することとなった。基本的な考え方はPCDと同じであり、	CPDCの役割として各コミュニティによるPCDからPACへの移行及びPACの作成を支援することとした。また、PACの完成に必要な(添付文書)となる事業予算の拠出についての

分類	項目	小項目	課題	対応																		
			多くのコミューンがPACを県に提出済みだが、未完成の状態である。全国的にも完成事例はなく、基準の策定が求められている。プロジェクト終了時においてもDPEがPAC策定ガイドラインを作成中であり、地方への配布は未だ行われていない。	合意文書の取り付け、市民団体との協議録の添付などの指導をCPDCが行うこととした。このうち前者については、上述したとおり、パイロットコミューンの大半がすでに事業予算の拠出に係る合意形成に成功していることから、今後はこれらのケースをモデルとした制度の整備・確立が求められる。 →DCL所属組織としてのCPDCの年間活動計画を整理・作成し、国や州・県議会の年間の予算案の編成スケジュールに合わせたPAC案の作成や市民団体との協議、事業予算の申請などの指導を正式な業務として位置づけ、DCLの承認を得た。																		
		公務員の能力強化	法改正など地方分権は進められているものの、コミューン関係者の能力向上の機会はほとんどなく、進んでいないのが現状である。	2016年末から、DRHと協働でコミューンスタッフの能力向上のための研修を行い、成果を上げた。その成果が、DRHによるコミューン、県議会等による研修費用の負担に関する合意締結に貢献し、締結が最終段階である。 →今後の研修実施向け、テーマ別費用等を記載し、教材を添付した研修プログラムとして整理・作成																		
	成果3	IPPの実施	本プロジェクトでは、当初、IPPはPRDPの中から選ぶこととなっていたが、PRDPの11事業は1~数十億円規模であり、プロジェクト開始後に財源探しから行う状況で、プロジェクト期間中(3.5年)の完了は極めて難しく、加えて当初想定されていたように、数か月で計画から完工まで行うのは不可能であった(複数コミューンの発意により提起された県西部の廃棄物処理事業などは、今般の事業化まで6年かかっている)。	IPPの計画は時間、予算のスケールをあまり現実的に考慮してはいなかった。そこで、県下の全コミューンを対象に廃棄物処理事業の実施方法や技術に関する研修やスタディツアーを実施し、CPDCがコミューンによる廃棄物処理事業の実施に向けた能力強化を図っていくことを目指すこととした。																		
	前提条件	CPDCメンバー	プロジェクト実施中に以下のような増減を繰り返し、活動に支障が生じた。 <table border="1" data-bbox="555 1460 954 1818"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>数</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開始当初</td> <td>3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2015年3月</td> <td>2</td> <td>CPDC室長の解任、1名が県議会事務局への異動に伴う交代</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>1</td> <td>県内他部局へ異動</td> </tr> <tr> <td>2016年3月</td> <td>3</td> <td>増員</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>2</td> <td>県議会事務局への異動</td> </tr> </tbody> </table> CPDCのメンバーは2名体制で、DCLスタッフ1名がCPDC室長代理、DCL局長が統括の立場にあるが、全体として、体制は十分とはいえない。	時期	数	理由	開始当初	3	-	2015年3月	2	CPDC室長の解任、1名が県議会事務局への異動に伴う交代	10月	1	県内他部局へ異動	2016年3月	3	増員	7月	2	県議会事務局への異動	副知事、人事部長に対し、増員を要請したものの、補充は1度行われたのみであった。 →既存の人員配置で対応できる業務をプロジェクトの活動を通じ特定し、CPDCの年間活動計画として整理・作成した。
時期	数	理由																				
開始当初	3	-																				
2015年3月	2	CPDC室長の解任、1名が県議会事務局への異動に伴う交代																				
10月	1	県内他部局へ異動																				
2016年3月	3	増員																				
7月	2	県議会事務局への異動																				
		PDの交代	2016年4月に約1年6か月間PDとしてプロジェクトに関与してきた副知事が離任した。一方、CPDCは副知	前副知事の離任を機会にCPDCが県の正式な組織の一部として位置づけられ、CPDCがより組織的に安定																		

分類	項目	小項目	課題	対応												
			事の傘下に位置付けられていたが、県の組織図の中で正式な位置づけがなされていなかった。	して活動を遂行できる方策を検討した結果、CPDCをDCL配下の組織となることを提案、実現した。												
プロジェクトの運営面	知事・副知事の交代	-	開発調査当時の知事・副知事はコミュニケーション支援に積極的で、当時CPDCも設立したが、本案件開始当初は知事、副知事も入れ替わっており、CPDCは実質的に休眠状態にあった。プロジェクトの円滑な実施のためには彼らの理解、積極性がプロジェクトの進捗に大きな影響を与えるが、知事・副知事を含め下表の用に数度交代しており、信頼関係を十分構築できていない。 なお、2015年の州境変更に伴い、エルランディアは州都となり、それ以降は州知事が県知事を兼務した。	副知事には事あるごとにコンタクトしているが、とにかく多忙で短時間の面会を取り付けるのも難しく、特に、2016年7月～10月にかけて、再三協議を申し入れたものの、機会は得られなかった。また、州知事(兼県知事)とは面会することも困難であった。このため、直接協議に注力せず、DCL局長を通じ、意見を確認した。												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>交代の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年1月</td> <td>県知事の交代</td> </tr> <tr> <td>2015年10月</td> <td>州知事の着任(県知事の離任、以降県知事は州知事が兼務)</td> </tr> <tr> <td>2016年4月</td> <td>県副知事(PD)の交代</td> </tr> <tr> <td>2017年6月</td> <td>州知事の交代</td> </tr> <tr> <td>2018年6月</td> <td>県副知事(PD)の交代</td> </tr> </tbody> </table>		時期	交代の有無	2015年1月	県知事の交代	2015年10月	州知事の着任(県知事の離任、以降県知事は州知事が兼務)	2016年4月	県副知事(PD)の交代	2017年6月	州知事の交代	2018年6月	県副知事(PD)の交代
			時期		交代の有無											
			2015年1月		県知事の交代											
2015年10月	州知事の着任(県知事の離任、以降県知事は州知事が兼務)															
2016年4月	県副知事(PD)の交代															
2017年6月	州知事の交代															
2018年6月	県副知事(PD)の交代															
行政の縦割り	-	各分野の具体的な技術支援は、国もしくは県の各担当部署から行い、CPDCはその調整を担う立場にある。このため各担当部署と常時コンタクトが必要であるが、正式な協議、訪問を行うためにはその都度副知事や知事の決裁が必要とされており、機動的な調整の実施が困難であった。また、各担当部署とのスケジュール調整も容易ではない。	各担当部門の調整をするのがCPDCなのでやむを得ない面もあるが、関わりの深い部署との会議については定例化することで都度の決裁は不要とのことで、廃棄物処理を担当する環境部局との話し合いは定例化するなど効率改善に努めた。													
地方選挙	-	2015年9月4日にコミューン議会議員選挙が行われたが、C/Pを含む多くの公務員が準備、その後のフォローに手を取られた。このため、実質的に9月頭～10月下旬は活動できなかった。	専門家チーム1名の10月下旬までの予定滞在期間を9月中旬に短縮した。													
	プロジェクト事務所の移転		2016年1月、県の決定事項として、事務所の移転を申し渡され、移動を余儀なくされた。また、7月19日、県議会議長から、以前の事務所への移転を打診された。州知事も了承済みのことで、これを受け入れ、29日には移転を完了した。	荷物の移動、片付けなどが必要となったが、移転先に問題はなく、業務の再開に支障はなかった。												

第4章 プロジェクト目標の達成度

4.1 成果の達成度

成果に係る指標及び達成度を下表に示す。

表 4.1 成果の指標及びその達成度一覧

指標	達成度																				
成果1																					
1) Consultation committee meetings are held twice a year.	<p>コミュニティでの事業実施に向け、当初は、CPDCがCTPを運営管理し、CTPを通じ、技術支援を行うことを想定していた。一方、CTPの議事は安全管理にまでわたり、開催・運営は知事の専権事項で、CPDCによる運営管理は現実的ではないことが明らかとなった。このため、知事の提言に従い、プロジェクト実施上の時限つき機関として、2015年1月に協議委員会が設立された。</p> <p>2015年には計3回の協議委員会を開催したものの、2015年9月に実施された地方選挙前後から、PDの副知事が多忙を極め、手続きが進められず、協議委員会を開催することができなかった。しかしこの間は、SPP支援、IPP支援、農村コミュニティの訪問調査を含むコミュニティ支援方策の検討などを、OJTを通じて行い、CPDCの能力強化を図ると共に、CPDCの位置づけについて関係者と協議を重ねた。実績としては、2015年が3回、2016年が0回、2017年が2回である（年平均1.6回）。また、2016年は地方選挙等外部要因の影響が大きかったことから、全体として考慮すると、本指標は概ね達成されたと判断できる。</p>																				
2) CPDC is officially positioned in the government structure.	<p>CPDCは開発調査後半で設立されたものの、組織として正式な位置づけがなされていないことから実質的に権限も持っておらず、役割もあいまいであった。プロジェクト実施を通じ、PDである県副知事との再三にわたる協議を踏まえ、2015年1月に副知事室配下の組織として、2016年10月にはDCL下の組織として、州知事の署名文書をもって正式に了承された。このため本指標は達成されたと判断できる。とはいうものの、組織の能力が脆弱なのも事実であり、今後、州・県行政による強化が求められる。</p>																				
成果2																					
1) CPDC can support formulation of PAC for 5 communes /year.	<p>当初計画では、対象とする1つのコミュニティのPCD作成支援を想定していた。一方、2015年10月の地方分権に関する法改正では、全コミュニティで、新たにPACを作成する必要が生じた。</p> <p>PAC作成支援の活動が本プロジェクト実施中の2015年10月から2018年6月末までの2年9カ月間に実施されたが、プロジェクト終了時点で、CPDCによる作成支援により県内29コミュニティのうち、16コミュニティが県に提出済み、12コミュニティが作成中、1コミュニティが作成に未着手であり、同期間で28コミュニティでのPAC作成が支援されている。</p> <p>このため、年平均で10コミュニティ（28コミュニティ/2.75年）のPAC作成支援を行っており、本指標は達成されたと判断できる。</p>																				
2) CPDC can conduct seminars and trainings for 100 participants/year.	<p>成果2にかかるセミナー及び研修等能力強化が、2016年10月のCPDCのDCL配下への正式承認後開始されたことから、2016年10月からプロジェクト終了時までのセミナー及び研修の年ごとの参加者を下表にまとめる。</p> <table border="1" data-bbox="660 1738 1193 1908"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>セミナー</th> <th>研修</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016（10月以降）</td> <td>0</td> <td>45</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>0</td> <td>279</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>2018（6月まで）</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80</td> <td>324</td> <td>404</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上から、2016年が実質的に2カ月間、2018年が実質的に半年間での活動であったことを考慮すると、本指標は概ね達成されたと判断できる。</p> <p>また、参加者の多くが、コミュニティでの費用負担を含む継続的な実施を望む発言が確認され、ニーズは高い。これを裏付けるように、DFCAT、県議会、各コミ</p>	時期	セミナー	研修	計	2016（10月以降）	0	45	45	2017	0	279	279	2018（6月まで）	80	0	80	計	80	324	404
時期	セミナー	研修	計																		
2016（10月以降）	0	45	45																		
2017	0	279	279																		
2018（6月まで）	80	0	80																		
計	80	324	404																		

指標	達成度								
	ューン負担で、コミュニケーションスタッフの能力強化の取組みを進める方向で議論が進んでいる。このように研修実施は正のインパクトをもたらした。								
成果3									
1) CPDC can conduct seminars and trainings for 60 participants/year.	<p>PRDPの中で複数のコミュニケーションにより事業化が進められていた廃棄物処理事業に対する研修やセミナーが実施され、県やコミュニケーションの関係者の能力強化が図られた。これらセミナー及び研修の参加者の総数は下表の通り。2016年の1年間で計4回、166名の人材が受講または参加していること、また、支援の対象となる事業が確定し、セミナー及び研修が開始された2016年からプロジェクト終了までの2年半の間の年平均では66.4名となることから、本指標を満たしている。しかし、本事業はその後、用地取得問題が難航したため進んでおらず、一方でエルラシディア県及びCPDCも2016年10月以降は成果2にかかる能力強化やPAC作成支援に注力したため、2017年以降は実施されていない。その後、本邦研修で得た知見を参考に、2018年6月に本事業に関わっていた県内の5つのコミュニケーションが、廃棄物処理事業を含む広域事業を進めるための、コミュニケーション連携に係る新組織設立の合意書に調印したことから、今後、事業が本格的に再開される見通しであり、CPDCにより2016年に実施された研修やセミナーが再開されることが期待される。従って、本指標は概ね達成されたと判断できる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>セミナー</th> <th>研修</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016</td> <td>56</td> <td>110</td> <td>166</td> </tr> </tbody> </table>	時期	セミナー	研修	計	2016	56	110	166
時期	セミナー	研修	計						
2016	56	110	166						
2) CPDC can conduct a technical visit/year to an inter-communal project.	<p>廃棄物処理事業にかかるスタディツアー（JICAが実施する廃棄物管理分野のワークショップへの参加を含む）は2016年に2回実施された。しかし、上述の通り本事業は2017年以降進んでいないことから、その後は実施されていない。このため、本指標は未達成である。</p> <p>ただし、CPDC自身は2016年に実施したスタディツアーの経験から、実施のノウハウやプレゼンテーション資料等を保有しており、また、JICAが実施する廃棄物管理マスタープランの作成に係る技術協力プロジェクトも開始されている。そこで、上述の通り本事業が再開されれば、CPDCはこれらを利用してスタディツアーを継続して実施していくことは可能であると判断される。また、2016年のスタディツアーに参加したエルラシディア県議会議長からは、実施費用を県が負担しながら継続的な実施を望む発言がなされるなど、スタディツアーのニーズは高く、県議会を資金源としたスタディツアーの継続の可能性も示唆される。</p>								

4.2 プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標に係る指標及び達成度を下表に示す。

表 4.2 プロジェクト目標の指標及びその達成度一覧

指標	達成度
1) More than 60% of communes admit their capacity for development projects is improved through project activities.	<p>2016年10月以降にコミュニケーションの職員向けのPAC作成や事業マネジメント、入札手続きなどの能力強化研修を実施したが、これらには、全体で見れば県下の全29コミュニケーションからの参加が得られている。また、参加者の職位もテーマにより異なるが、それぞれコミュニケーションの副市長クラスや技術担当部長クラスであり、コミュニケーションにおける事業実施の実質的な責任者であると考えられる。そこで、本指標の測定方法として、各コミュニケーションからの参加者に研修受講後に質問票方式により、研修内容の妥当性や業務との関係性、研修内容の理解度、能力の強化について調査を行った。その結果は下表の通りであり、数値は肯定的な回答を行った参加者の割合であるが、平均で8割以上が「研修の内容」は妥当で「業務との関係性」も高いと評価しており、理解度も7割を超えていた。しかし一方で、「研修結果の活用の可能性」は62%と若干下がっており、特に、本指標に直接関係する「研修により能力が強化されたか」については56%と本指標の目標値を若干下回る結果となった。</p>

指標	達成度		
	No.	質問項目	全テーマ平均
	1	研修内容の妥当性	83%
	2	本来業務との関係性	83%
	3	研修の理解度	71%
	4	本来業務における研修結果活用の可能性	62%
	5	研修による能力が強化されたか	56%
2) More than 2 communes find financial source for development projects due to support of project activities.	SPPの対象5コミューンのうち、Ferkla El Oulia、Ettaous、Errissaniの3コミューンで、SPPに関するプロジェクトドキュメントを作成して資金提供機関（国の機関や州・県議会）に提出し、事業実施にかかる資金提供に関する合意の通達を文書で受けており、また、Errtebについては、事業資金の一部の提供について基本合意に達している。これらのうち、Ferkla El Ouliaを除く3コミューンについては、それぞれ州および県議会の承認を経ており、DCL/CPDCのコミューンへのプロジェクトドキュメント作成支援、事業実施予算の確保支援の成果が現れている。従って、 本指標は達成された と判断できる。なお、文書で通知を受けた3コミューンについては、それぞれ合意書締結が最終段階にあるが、いずれも内部の手続きに時間を要しており、プロジェクト終了時点では署名までには至っていない。		

4.3 上位目標の達成度

上位目標に係る指標及び達成度を下表に示す。

表 4.3 上位目標の指標及びその達成度一覧

指標	達成の見込み度
1) One or more provinces in the region organize exchange visits to Errachidia to learn about their experience.	2015年の州境変更に伴う州の組織改編が2016年及び2017年にかけて進行し、エルラシディアを含む州内の5県がその対応に多忙であったことが影響し、コミューンレベルでの事業実施促進に向けた県同士の意見交換が活発に行われていなかった。 しかし、2017年に組織改編が終了してからは、エルラシディア県を中心とした新しい州の体制が発足しており、また、2018年3月に開催した技術交流セミナーでは州内の他県も参加し、他県DCL職員から、CPDCの経験を広げるべきであるとの発言もあるなど、他県からの参加者のCPDCの経験に対する関心が高かったことから、今後活発な意見交換が行われることが期待できる。 以上から 上位目標の指標が達成される見込みはやや高い と考えられる。
2) At least 1 province in the region creates a CPDC to support its communes.	2018年1月に開催したPACに関する県内セミナーにおいて、参加した中央レベルのDFCATの職員から、CPDCがコミューンでの事業実施促進に向けた1つのモデルであることや同モデルの他県への普及の必要性が言及されたことに加え、2018年3月に開催した技術交流セミナーでは、CPDCの導入に興味を示す県もあり、今後CPDCが他県でも導入される可能性がある。 以上から、 上位目標の指標が達成される見込みはやや高い と考えられる。

第5章 上位目標の達成に向けての提言

上位目標の達成に向け、州以下の地方レベルでの働きかけと中央レベルからの働きかけの2つの方向からの提言を以下に記載する。

5.1 地方レベルでの働きかけ

5.1.1 CPDCの持続性の確保

CPDCは、開発調査後半に当時の県知事及び副県知事が設立した機関で、組織として正式な位置づけがなかった。その後休眠時期を経て、本プロジェクトにおいて、DCL配下でコミューン支援の役割を担う組織となった。しかし、プロジェクト終了時点でメンバーは2名で、今後の活動を考えると組織として弱体であることは否めない。組織としての持続性を確保するためには、メンバーの増員、室長の適切な配置、州・県行政による継続した支援が求められる。

一方、能力については依然として、コミューンにおける事業実施促進の面では経験不足の組織ではあるが、本プロジェクトを通じ、PAC作成支援、SPP実施を通じたコミューンの開発パフォーマンスの評価及びコミューンの開発事業の支援、コミューンスタッフの能力強化支援などを行い、現行の人員配置で果たすべき役割を検討し、年間活動計画を作成した。最終セミナーでは、プロジェクト終了後も引き続きその任を負うことが確認できたが、コミューンの開発に貢献するためには、活動の持続性を強固に担保する必要がある。そのためには、特に、SPPの進捗確認及び全コミューン向けのPAC支援に関し、州及び県の行政に加え、コミューンから選定された議員で構成される州及び県議会との積極的な情報交換が行われることが望ましい。

5.1.2 事業予算の確保

モロッコにおいては、州や県は地方税や国からの地方交付税などの収入があるものの、年間予算の大半が経常経費として支出されており、地方開発のための事業予算にほとんど回らないのが実情となっている。従って、コミューンの開発予算は、国の各省庁が持っている事業予算か、もしくはドナーの資金が頼りとなる。このような背景の中で、本プロジェクトの枠組みでは、事業実施に向けた予算は予め確保されておらず、プロジェクト活動の中で予算を確保することが計画されていたため、予算確保に関する情報収集・協議に時間を要した。また、モロッコの多くのスキームでは、単一の財源からの支出は最大で事業費の半分となることが主流であり、複数のリソースを同時並行的に探す必要がある。

一方で各省庁も地方開発のための事業予算を執行するためのコミューンの開発計画に関する情報が十分になく、全コミューンに一律に予算を交付するなど、必ずしも地域住民のニーズをきちんと吸い上げた効果的な事業の遂行ができていない。

そのため、モロッコ政府は地方分権化を強力に推進し、地方自治体が主体的に住民のニーズをくみ取った開発を進めていくことを目指しており、本プロジェクトもそのための県の能力強化を図ってきた。しかし、その目的を達するためには、単に能力強化を図るだけではなく、開発予算そのものが県に移譲され、県が国とコミューンの間に入って、開発意欲の高いコミューンや、優

れたコミュニンの開発計画を競争的に選定して事業予算を交付していくような仕組みが構築されるべきである。または、事業予算そのものは省庁が持っていたとしても、その事業予算の交付先となるコミュニンの選定に対して県が間に入り、県の予算との効果的な連携や使い分けがなされることが望ましい。CPDCの本来的な役割は、コミュニンの開発計画の作成やその実施を支援するとともに、県の組織として、このような県の一種の補助金事業の制度の運営を担い、特にコミュニンの開発計画の審査や選定に携わっていくことが考えられる。その過程を通じてコミュニンの作成するPACや開発事業のための「プロジェクト・ドキュメント」に対して指導を行い、県や国の各省庁が採用できるだけの熟度を持った開発計画となるようレベルアップを図っていくような位置を確立することが望まれる。本プロジェクトでは、5つのコミュニンを対象に、開発事業であるSPPの実施に向けたPACの作成やプロジェクト・ドキュメントの作成を、そのための事前調査の実施段階から支援し、そのうち、2つのコミュニンについては予算の確保がほぼ完了しており、他の1つも最終段階にある。さらに1コミュニンは申請中である。

現在、地方分権の流れでは、州及び県議会が有する補助金が増加していることが口頭で確認されており、この動きの促進が期待される。上述SPPでも内3つが50%乃至一部の事業予算について州議会に申請しているが、プロジェクト・ドキュメントなどの書類はまずCPDCの上部組織であるDCLに提出される。そのため、CPDCはすでにDCLの傘下にあって提出されたプロジェクト・ドキュメントの内容の確認やコミュニンに対して不足する書類の提出などの指導にあたっているが、今後、このような仕組みを制度化し、DCLやCPDCが実質的に運営する州や県議会のコミュニン開発事業のための補助金制度が構築されることが期待される。

併せて、本プロジェクトで作成したノウハウ集を参照しつつ、コミュニンの自発的な取り組みによる予算確保の推進が求められる。また、今後、ノウハウ集を更新することで、CPDCがコミュニンにより多くの選択肢を提示できることを期待したい。

5.1.3 情報共有の促進

各コミュニンの取組み事例、先進事例などについて情報交換、意見交換等の場があると情報共有が促進される。2018年3月の技術交換セミナーはその契機となったため、今後も継続されることを期待する。特に、前述の通り、州及び県議会が有する補助金が増えることが想定されるため、議会等でも事業予算の確保に向けた協議が積極的に行われることが望ましい。

特に、地域全体でのコミュニン開発事業の促進の底上げのためには、周辺の他県及び他州との意見交換の活発化が望まれる。

一方、日本で実施されている市町村会議は、県の主催で、市町村の連携なども活用しながら広域での課題解決を図るためのもので、本邦研修でもモロッコにおける有用性が確認されている。このため、エルラシディア県でも県がコミュニン会議を定期的を開催し、地域の課題解決に貢献していくことを期待したい。CPDCは、このような情報共有や会議の事務局的な機能を果たしていくことが望まれる。

5.1.4 市民社会との協働

本プロジェクトでは県やコミューンを対象とし、アソシエーションなどの市民グループは直接の支援対象ではなかった。一方、地方分権の流れの中で、地域住民に最も近い市民グループの役割は増していくことが予想される。アソシエーションは行政登録される必要があり、その中でも形骸化している組織もあるが、今後は、行政のみでは賄いきれない、市民生活に直結したきめ細やかな社会サービスへの需要の増加が予想される中で、アソシエーションの役割の重要性は増すとと思われるため、協働体制を築いていくことが望ましい。

5.2 中央レベルからの働きかけ

5.2.1 コミュニスタッフの能力強化の継続

本プロジェクトでは、コミュニスタッフを主対象とした能力強化を実施してきた。これまでまとまった研修機会はなかったため、コミューン及び県からの参加者にとっては貴重な学びの場となった。政府としては今後も地方分権を進める計画であり、公務員の能力強化を担当するDFCATにおいて、コミュニスタッフの能力向上は必須の課題である。今回の一連の研修を契機に、DFCAT、県議会、各コミューン負担で、コミュニスタッフの能力強化の取組みを進める方向で議論が進んでおり、関係者の費用負担に関する合意の下、着実に進められることが決定された。以上を踏まえ、本プロジェクトで作成した研修プログラム（研修実施の仕組みやDRHとの連携、教材などを含めて）が活用されることで、予算確保を含めた持続的な研修の提供が期待される。同研修を通じたコミューンの人材育成にあたって、CPDCはDRHと連携して主導的な役割を担っていくことが期待される。

IPPではイフランへの視察を行い、関係者には大きな刺激になった。州、県の行政、議会が今後も積極的に先進事例について継続的に学ぶことが望ましい。このためにはDRHの地域に沿った研修ニーズ把握やDFCATによる他地域の先進事例の共有は有効である。このような動きにおいても、CPDCが企画・運営していくことが期待される。

5.2.2 DGCLの支援の必要性

公務員の能力強化に関し、DFCATは、本プロジェクトにおいても大きな役割を果たした。また、エルラシディアにおいては、管轄するライン省庁とともに、廃棄物処理事業や保健センター建設事業の実施に向けた一部事務組合設置を支援しており、セクターに限らないコミューンの組織化に向けた支援が継続されることが望ましい。本プロジェクトが実施したセミナーにおいても、中央機関職員からCPDCの役割の重要性が示唆されたことから、DGCLには、CPDCの活動を継続させつつ、他県・他州への展開も望まれる。

一方、DGCLによるPAC作成マニュアルの製作は、2017年8月から完成間際という情報を得ていたものの、プロジェクト終了時点では完成していない。コミューン自身が自発的にPAC作成を行うためにも速やかな完成を期待する。

添付資料

- 1 PDM
 - 2 業務フローチャート
 - 3 詳細活動計画
 - 4 専門家派遣実績（要員計画）（最新版）
 - 5 研修員受入れ実績
 - 6 JCC、中央レベルの委員会会議事録等（第1回 JCC、第2回 JCC）
 - 7 貸与物品リスト
-

Project Design Matrix

Version 1, 2014 Oct. 31

Project Title: The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia
 Implementing Agency: General Direction of the Local Authorities (DGCL), Ministry of the Interior /
 Office for Promoting Development Plan and Coordination (CPDC), Province of Errachidia
 Target Group: Officials of Errachidia Province, local communes and civil society related to Implementation of PCD
 Period of Project: 3 years and 6 months (October 2014 - March 2018)
 Project Site: Province of Errachidia

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal			
Supporting mechanism of planning and implementing communal and inter-communal development projects, developed in the Province of Errachidia is applied to other provinces in the Meknès-Tafilalet Region.	1) XX numbers of inter-communal projects are implemented in Errachidia Province. 2) XX numbers of inter-communal projects are implemented in other Provinces by the Errachidia method. 3) XX numbers of communes adopting PCD implementation manual along with PDCA method in Errachidia Province. 4) XX numbers of communes adopting PCD implementation manual along with PDCA method in other Provinces.	1) Projects report of Errachidia Province 2) Projects reports of provinces in other provinces 3) Projects reports of communes in Errachidia Province 4) Projects reports of communes in other provinces	Policies and orientations of the government of Morocco on the advanced regionalisation (La Régionalisation avancée) are not significantly changed.
Project Purpose			
CPDC, a new set-up of the Secretariat General of the Province of Errachidia, effectively assists the communes in terms of planning, implementing, monitoring, and evaluating development projects and accumulates the methods.	1) Guideline for inter-communal projects is elaborated. 2) PCD implementation manual is revised along with PDCA method. 3) XX % of stakeholders of the pilot projects evaluate them positively. 4) XX numbers of organizations adopt PCD implementation manual along with PDCA method.	1) Manual of the inter-communal project 2) Revised PCD manual 3) Survey result 4) Survey result	
Outputs			
1. The Provincial Technical Committee (CTP) member institutions assist effectively the communes in the process of planning, implementation, monitoring and evaluation of their development projects.	1) The Provincial Technical Committee is held XX times. 2) The Provincial Technical Committee requests divisions and institutions concerned to assist communes XX times. 3) Technical assistances are done XX times through the Provincial Technical Committee.	1) Minutes of meeting of CTP 2) Minutes of meeting of CTP 3) Monitoring record of pilot projects	
2. A communal project is implemented by a commune following the PDCA (Plan, Do, Check, and Action) management cycle with support by the Province.	1) XX number of organizations for implementing PCD projects are established in each commune. 2) XX times each member from established organizations in the commune is present at meeting for PCD projects. 3) XX number of participants trained by the seminars and trainings. 4) XX number of projects managed by the PDCA cycle is implemented.	1) Monitoring record of the pilot project 2) Monitoring record of the pilot project 3) Monitoring record of the pilot project, training reports 4) Survey result	
3. An inter-communal project is implemented by communes with support by the Province.	1) XX number of technical sheet for inter-communal project is elaborated. 2) XX times of technical visit to the previous inter-communal project is conducted. 3) XX pilot projects are completed. 4) XX number of commissions designated by the Governor. 5) XX times each commission member is present.	1) Monitoring record of the pilot project 2) Progress reports 3) Progress reports 4) Progress reports 5) Minutes of meeting of commissions	

Activities	Inputs		Important Assumption
	(1) Input by JICA	(2) Input by the Province	
1-1 To propose operational procedures of CTP 1-2 To coordinate meetings of CTP 1-3 To hold CTP regularly 1-4 To organize ad hoc committees to assist communes in implementing development projects 1-5 To monitor technical assistance of CTP	(a) Dispatch of Experts - Team Leader / Organizational Management - Regional Development / Planning, Follow-up, Monitoring and Evaluation (b) Training The detailed plan of training in Japan or other countries will be determined later. (c) Machinery and Equipment The detailed list of machinery and equipment to be provided will be determined later.	(a) Services of the counterpart personnel of JICA Experts administrative personnel; (b) Suitable office space with necessary equipment; (c) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the equipment provided by JICA; (d) All the necessary measures for implementation of the Project; (e) Expenses necessary for transportation within Morocco of the equipment as well as for the installation, operation and maintenance thereof	Pre-Conditions The Governor assigns the enough number of active personnel concentrating to promote PCDs and their budget in Errachidia Province.
2-1 To select a target commune 2-2 To clarify the role of the communal organizations in charge of planning and implementing communal projects 2-3 To assist a pilot commune to revise the commune development plan 2-4 To select a pilot project 2-5 To conduct training course on management of the development projects based on PDCA to persons concerned in province and communes 2-6 To assist procedure of the bid for the detailed designing of the pilot project 2-7 To assist elaboration of the implementation plan of the pilot project 2-8 To assist the bid for construction of the pilot project 2-9 To monitor the pilot project 2-10 To examine the pilot project periodically by CTP member institutions 2-11 To evaluate the pilot project 2-12 To analyze lessons learned of the pilot project 2-13 To revise the manual of PCD following PDCA methodology 2-14 To organize seminars on implementing PCD following the PDCA methodology 2-15 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Meknès-Tafilalet Region	Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and the Province during the implementation of the Project, as necessary.		
3-1 To analyze relevant cases and laws to the inter-communal projects 3-2 To select a pilot project 3-3 To clarify the role of CTP and related institutions to the inter-communal project 3-4 To make legal arrangements for inter-communal project stipulated in the Communal Charter 3-5 To assist procedure of the bid for the detailed designing of the pilot project 3-6 To conduct technical visits for good practices of inter-communal projects 3-7 To assist elaboration of the implementation plan of the pilot project 3-8 To assist the bid for construction of the pilot project 3-9 To monitor the pilot project 3-10 To examine the pilot project periodically by CTP member institutions 3-11 To evaluate the pilot project 3-12 To analyze lessons learned of the pilot project 3-13 To elaborate the implementation manual of the inter-communal project 3-14 To organize seminars on implementing inter-communal project 3-15 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Meknès-Tafilalet Region			

Project Design Matrix

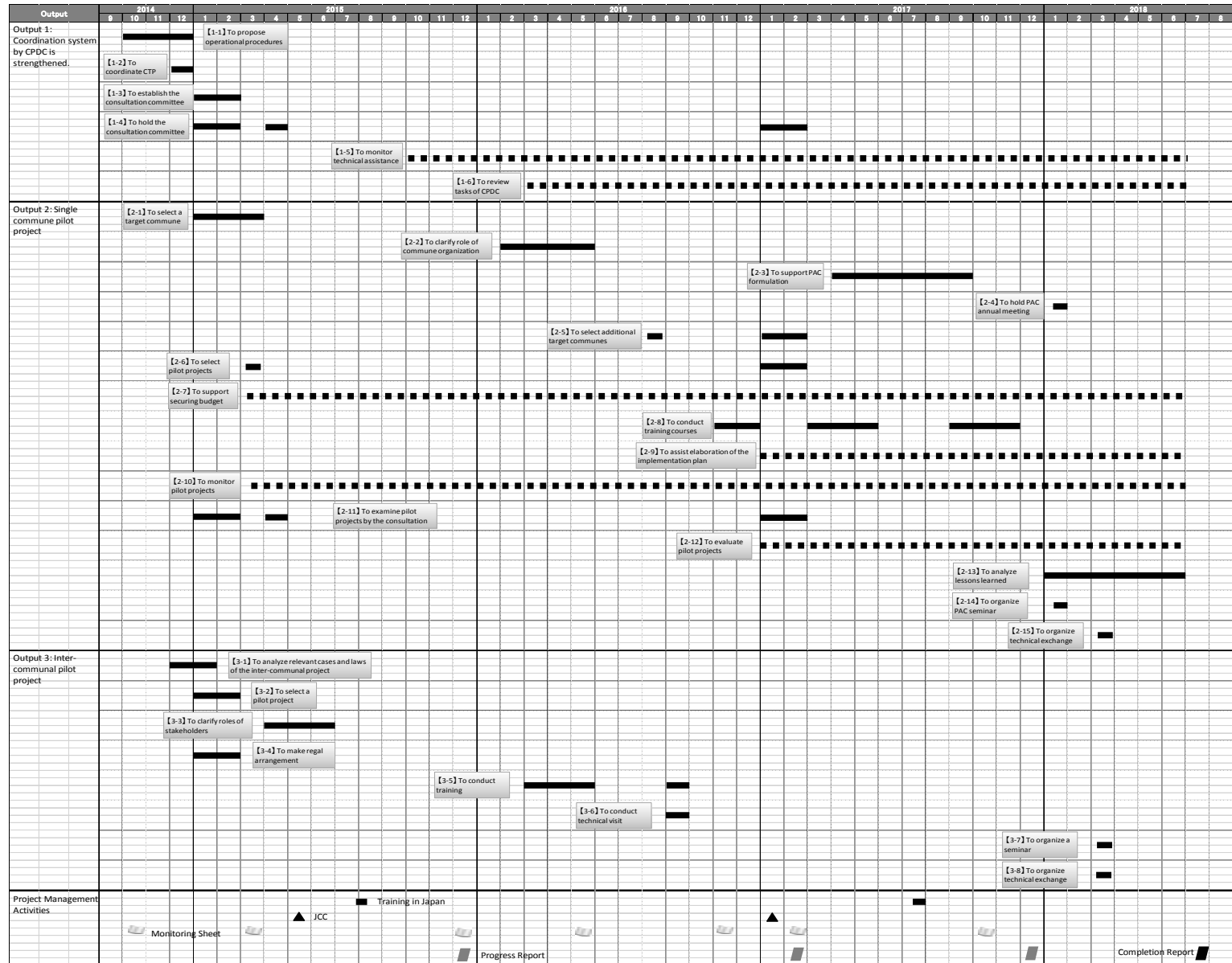
Version 2, 2015 May 27

Project Title: The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia
 Implementing Agency: General Direction of the Local Authorities (DGCL), Ministry of the Interior /
 Office for Promoting Development Plan and Coordination (CPDC), Province of Errachidia
 Target Group: Officials of Errachidia Province, local communes and civil society related to Implementation of PCD
 Period of Project: 3 years and 6 months (October 2014 - March 2018)
 Project Site: Province of Errachidia

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal			
Supporting mechanism of planning and implementing communal and inter-communal development projects, developed in the Province of Errachidia is applied to other provinces in the Meknès-Tafilalet Region.	1) XX numbers of inter-communal projects are implemented in Errachidia Province. 2) XX numbers of inter-communal projects are implemented in other Provinces by the Errachidia method. 3) XX numbers of communes adopting PCD implementation manual along with PDCA method in Errachidia Province. 4) XX numbers of communes adopting PCD implementation manual along with PDCA method in other Provinces.	1) Projects report of Errachidia Province 2) Projects reports of provinces in other provinces 3) Projects reports of communes in Errachidia Province 4) Projects reports of communes in other provinces	Policies and orientations of the government of Morocco on the advanced regionalisation (La Régionalisation avancée) are not significantly changed.
Project Purpose			
CPDC, a new set-up of the Secretariat General of the Province of Errachidia, effectively assists the communes in terms of planning, implementing, monitoring, and evaluating development projects and accumulates the methods.	1) Guideline for inter-communal projects is elaborated. 2) PCD implementation manual is revised along with PDCA method. 3) XX % of stakeholders of the pilot projects evaluate them positively. 4) XX numbers of organizations adopt PCD implementation manual along with PDCA method.	1) Manual of the inter-communal project 2) Revised PCD manual 3) Survey result 4) Survey result	
Outputs			
1. The external services and divisions of the province effectively assist the communes in the process of planning, implementation, monitoring and evaluation of development projects.	1) Consultation committee meetings are held XX times. 2) Technical assistances are done XX times through the consultation committee by stages of the project.	1) Minutes of meeting of the consultation committee 2) Monitoring record of pilot projects	
2. A communal project is implemented by a commune following the PDCA (Plan, Do, Check, and Action) management cycle with support by the Province.	1) XX number of organizations for implementing PCD projects are established in each commune. 2) XX times each member from established organizations in the commune is present at meeting for PCD projects. 3) XX number of participants trained by the seminars and trainings. 4) XX number of projects managed by the PDCA cycle is implemented.	1) Monitoring record of the pilot project 2) Monitoring record of the pilot project 3) Monitoring record of the pilot project, training reports 4) Survey result	
3. An inter-communal project is implemented by communes with support by the Province.	1) XX number of technical sheet for inter-communal project is elaborated. 2) XX times of technical visit to the previous inter-communal project is conducted. 3) XX pilot projects are completed. 4) XX number of commissions designated by the Governor. 5) XX times each commission member is present.	1) Monitoring record of the pilot project 2) Progress reports 3) Progress reports 4) Progress reports 5) Minutes of meeting of commissions	

Activities	Inputs		Important Assumption
	(1) Input by JICA	(2) Input by the Province	
1-1 To propose operational procedures for technical services and divisions to be involved in the development project 1-2 To coordinate a meeting of Provincial Technical Committee (CTP) for establishment of a consultation committee for communal development 1-3 To establish the consultation committee to assist communes in implementing development projects 1-4 To hold the consultation committee meetings regularly 1-5 To monitor technical assistance of the consultation committee 1-6 To clarify and review the tasks and missions of the CPDC for bottom up communal development	(a) Dispatch of Experts - Team Leader / Organizational Management - Regional Development / Planning, Follow-up, Monitoring and Evaluation (b) Training The detailed plan of training in Japan or other countries will be determined later. (c) Machinery and Equipment The detailed list of machinery and equipment to be provided will be determined later.	(a) Services of the counterpart personnel of JICA Experts administrative personnel; (b) Suitable office space with necessary equipment; (c) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the equipment provided by JICA; (d) All the necessary measures for implementation of the Project; (e) Expenses necessary for transportation within Morocco of the equipment as well as for the installation, operation and maintenance thereof	
2-1 To select a target commune 2-2 To clarify the role of the communal organizations in charge of planning and implementing communal projects 2-3 To assist a pilot commune to revise the commune development plan 2-4 To select a pilot project 2-5 To conduct training course on management of the development projects based on PDCA to persons concerned in province and communes 2-6 To assist procedure of the bid for the detailed designing of the pilot project 2-7 To assist elaboration of the implementation plan of the pilot project 2-8 To assist the bid for construction of the pilot project 2-9 To monitor the pilot project 2-10 To examine the pilot project periodically by CTP member institutions 2-11 To evaluate the pilot project 2-12 To analyze lessons learned of the pilot project 2-13 To revise the manual of PCD following PDCA methodology 2-14 To organize seminars on implementing PCD following the PDCA methodology 2-15 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Meknès-Tafilalet Region	Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and the Province during the implementation of the Project, as necessary.		Pre-Conditions The Governor assigns the enough number of active personnel concentrating to promote PCDs and their budget in Errachidia Province.
3-1 To analyze relevant cases and laws to the inter-communal projects 3-2 To select a pilot project 3-3 To clarify the role of CTP and related institutions to the inter-communal project 3-4 To make legal arrangements for inter-communal project stipulated in the Communal Charter 3-5 To assist procedure of the bid for the detailed designing of the pilot project 3-6 To conduct technical visits for good practices of inter-communal projects 3-7 To assist elaboration of the implementation plan of the pilot project 3-8 To assist the bid for construction of the pilot project 3-9 To monitor the pilot project 3-10 To examine the pilot project periodically by CTP member institutions 3-11 To evaluate the pilot project 3-12 To analyze lessons learned of the pilot project 3-13 To elaborate the implementation manual of the inter-communal project 3-14 To organize seminars on implementing inter-communal project 3-15 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Meknès-Tafilalet Region			

Project Flowchart



Detailed Activity Plan

Project Title: The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia

Inputs	Plan	2014				2015				2016				2017				2018	
	Actual	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II		
Expert																			
Team Leader / Organizational Management	Plan																		
	Actual																		
Regional Development / Planning, Follow-up, Monitoring and Evaluation (1)	Plan																		
	Actual																		
Regional Development / Planning, Follow-up, Monitoring and Evaluation (2)	Plan																		
	Actual																		
Regional Development / Planning, Follow-up, Monitoring and Evaluation (3)	Plan																		
	Actual																		
Training Planning (1)	Plan																		
	Actual																		
Training Planning (2)	Plan																		
	Actual																		
Equipment																			
Office equipment	Plan																		
	Actual																		
Training in Japan																			
Preparation of action plan for promoting the implementation of communal project in cooperation among central Ministry, province and commune.	Plan																		
	Actual																		
Activities	Plan																		
Sub-Activities	Actual																		
Output 1: Coordination system by CPDC among external services and divisions of the province is strengthened to support communes in the process of planning, implementation, monitoring and evaluation of development projects effectively.																			
1-1 To propose operational procedures for technical services and divisions to be involved in the development project	Plan																		
	Actual																		
1-2 To coordinate a meeting of Provincial Technical Committee (CTP) for establishment of a consultation	Plan																		
	Actual																		
1-3 To establish the consultation committee to assist communes in implementing development projects	Plan																		
	Actual																		
1-4 To hold the consultation committee meetings regularly	Plan																		
	Actual																		
1-5 To monitor technical assistance of the consultation committee	Plan																		
	Actual																		
1-6 To clarify and review the tasks and missions of the CPDC for bottom up communal development	Plan																		
	Actual																		
Output 2: Supporting system of the province through CPDC is strengthened to enable communes to implement development projects following the PDCA (Plan, Do, Check, and Action) management cycle.																			
2-1 To select a target commune	Plan																		
	Actual																		
2-2 To clarify the role of the communal organizations in charge of planning and implementing communal projects	Plan																		
	Actual																		
2-3 To support the formulation of commune development plan (PCD) and/or Action Plan and monitor its	Plan																		
	Actual																		
2-4 To hold annual meeting for PAC follow-up by CPDC	Plan																		
	Actual																		
2-5 To select additional target communes	Plan																		
	Actual																		
2-6 To select pilot projects in target communes	Plan																		
	Actual																		
2-7 To support the target communes to secure budget for pilot projects	Plan																		
	Actual																		
2-8 To conduct training course on management of the development projects based on PDCA to persons concerned in province and communes, and establish training system to support communes	Plan																		
	Actual																		
2-9 To assist elaboration of the implementation plan of the pilot projects	Plan																		
	Actual																		
2-10 To monitor the pilot projects	Plan																		
	Actual																		
2-11 To examine the pilot projects periodically by the consultation committee	Plan																		
	Actual																		
2-12 To evaluate the pilot projects	Plan																		
	Actual																		
2-13 To analyze lessons learned of the pilot project	Plan																		
	Actual																		
2-14 To organize seminars on implementing PCD and/or Action Plan following the PDCA methodology	Plan																		
	Actual																		
2-15 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Draa-Tafilalet Region	Plan																		
	Actual																		

添付資料 3 : 詳細活動計画

Activities		Plan	2014				2015				2016				2017				2018	
Sub-Activities		Actual	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II		
Output 3: Management capacity of CPDC is strengthened to enable to implement inter-communal projects.																				
3-1 To analyze relevant cases and laws to the inter-communal projects	Plan																			
	Actual																			
3-2 To select a pilot project	Plan																			
	Actual																			
3-3 To clarify the role of related entities and institutions to the inter-communal project	Plan																			
	Actual																			
3-4 To make legal arrangements for inter-communal project stipulated in the Communal Charter	Plan																			
	Actual																			
3-5 To conduct training course according to the target pilot project to persons concerned in province and communes	Plan																			
	Actual																			
3-6 To conduct technical visits for good practices of inter-communal projects	Plan																			
	Actual																			
3-7 To organize seminars on implementing inter-communal project	Plan																			
	Actual																			
3-8 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Draa-Tafilalet Region	Plan																			
	Actual																			
Monitoring Plan		Plan	2014				2015				2016				2017				2018	
		Actual	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II		
Monitoring																				
Joint Coordinating Committee	Plan																			
	Actual																			
Advisory Committee	Plan																			
	Actual																			
Implementation of Task Schedule	Plan																			
	Actual																			
Submission of Monitoring Sheet	Plan																			
	Actual																			
Reports/Documents																				
Project Monitoring Sheet	Plan																			
	Actual																			
Project Progress Report	Plan																			
	Actual																			
Project Completion Report	Plan																			
	Actual																			

専門家派遣実績

担当業務	氏名	所属先	格付	計画/ 実績	渡航 回数	2014年												2015年												2016年												2017年												2018年							日数 合計	人月 合計
						1年目												2年目												3年目												4年目																				
						8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7																					
総括/ 組織マネジメント	桑原 恒夫	NTCI	2	計画	6			(21)			(46)								(28)															(36)																												
				実績	6			(21)	4		11	25	(46)									17	13	(28)													12	19	(36)																							
地域開発/ 計画・モニタリング・ 評価1	滝川 永一	NTCI	3	計画	9			(22)		(29)				(45)							(26)															(21)		(27)																								
				実績	8			(22)	15	15	29	27			(45)								23	17	(26)														8	26	21	16																				
地域開発/ 計画・モニタリング・ 評価2	マサンバ ・ケイ	NTCI	3	計画	9																	(67)																																								
				実績	9																			19	24	(67)																																				
地域開発/ 計画・モニタリング・ 評価3	荒井 直人	NTCI	5	計画	4																																																									
				実績	3																																																									
現地業務小計						計画	0	0	34	11	27	42	53	31	34	43	28	0	9	17	13	30	24	16	42	36	35	31	4	23	20	0	21	30	9	51	30	35	36	35	30	9	0	14	32	45	45	12	58	38	6	38	46	0	1,223	40.77						
						実績	0	0	34	11	27	42	53	31	34	43	28	0	9	17	13	30	24	16	42	36	35	31	4	23	20	0	21	30	9	51	30	35	36	35	30	9	0	14	32	45	45	12	58	38	0	0	58	2	1,193	39.77						

研修員受入実績

表 1 第1回本邦研修 研修員受入実績

コース名称	モロッコ国別研修「地域開発に向けた行政の連携を学ぶアクションプラン策定研修」
研修期間	2015年7月26日～8月8日の14日間
研修員氏名	所属機関・職位
Abderrazzak KHARRAZI	エルラシディア県副知事室 職員
Hsaine OUKZIZ	エルラシディア県地方分権局 開発計画推進・調整室メンバー
Khalid HAFED	エルラシディア県地方分権局 開発計画推進・調整室メンバー
Lhoussaine HAMOUCHI	内務省地方自治総局 計画・施設局モニタリング課職員

表 2 第2回本邦研修 研修員受入実績

コース名称	モロッコ国別研修「都道府県による市町村の事業実施支援」
研修期間	2017年7月17日～7月29日の13日間
研修員氏名	所属機関・職位
Moulay Touhami HAFIDI	エルラシディア県副知事室 第1秘書
Lhabib FARHAOUI	エルラシディア県地方分権局 県地方分権局長
Mustapha ARFAOUI	エルラシディア県地方分権局 開発計画推進・調整室室長
Najat BENAMMAR	エルラシディア県地方分権局 開発計画推進・調整室メンバー
Smail MEKKAOUI	エルラシディア県地方分権局 開発計画推進・調整室メンバー
Hsaine OUKZIZ	エルラシディア県県議会 県議会計画担当職員
Moulay Lyazid ADRAOUI	Ferkra El Oulia市 副市長
Mohammed ELBOUBEKRI	Rissani市 副市長
Lhou AALLA	Taous市 副市長
Moulay Ali JERMOUNI	Erteb市 副市長
Tahiri ABDELLAH	Ferkra El Soufla市 市長秘書
Hanane LAMAIZI	内務省地方自治総局計画施設局 職員

موزارة الداخلية
عملة قلم الرشيدة
الكتابة العامة
حماية كقيم المخططات
التنمية و التنسيق

محضر اجتماع لجنة القيادة المختلطة
المشروع الثاني للمشاركة و التعاون بين عمارة اقليم الرشيدية
المديرية العامة لجماعات المحلية و الوكالة اليابانية للتعاون الدولي

في إطار المشروع الثاني للمشاركة و التعاون موضوع الاتفاقية الثلاثية المبرمة بين عمارة اقليم الرشيدية، المديرية العامة للجماعات المحلية و الوكالة اليابانية للتعاون الدولي بتاريخ 20 نونبر 2013، تم عقد اول اجتماع لجنة القيادة المختلطة يوم الاربعاء 27 ماي 2015 برئاسة السيد العامل وذلك قصد تقديم حصيلة تقدم المشروع تحت عنوان:

"تقوية القدرات المحلية من اجل التنمية القروية باقليم الرشيدية".

حضر أشغال هذا الاجتماع: (انظر رفقته لائحة الحضور)

- ❖ السيد نائب الممثل السقيم للوكالة اليابانية للتعاون الدولي بالمغرب،
- ❖ السيد ممثل مديرية التخطيط والتجهيز بالمديرية العامة للجماعات المحلية،
- ❖ السادة رجال السلطة،
- ❖ السادة رؤساء الجماعات الترابية،
- ❖ السادة اعضاء فريق الوكالة اليابانية للتعاون الدولي،
- ❖ السادة رؤساء المصانع الخارجية،
- ❖ السادة رؤساء الاقسام بالكتابة العامة للعمارة.

في البداية رحب السيد العامل بالحضور مع شكرهم على تلبية الدعوة و تكبيرهم عناء السفر لحضور اشغال الاجتماع الاول للجنة القيادة المختلطة للجهود التي تسجل لتواصل و التنسيق بين الفاعلين التنمويين بالإقليم، مبرزا أهم مهام الوكالة هذه للجنة، كما ذكر بأحد نتائج الاضافية الاولى، ثم دعا كافة الفاعلين و المسؤولين الى مضاعفة الجهد في سبيل تنمية الجماعات المنحة لتساكنة. بعد ذلك اعطى الكلمة للسيد نائب الممثل السقيم للوكالة اليابانية

لتعاون الدولي الذي أعرب عن معاداته لحضور أول اجتماع للجنة القيادة هذا المشروع الذي يهدف إلى بحارة الفجر و تحسين ظروف عيش الساكنة في المجال القروي بالإقليم المذكرا بالنتائج المحصل عليها في المشروع الاول خاصة اعتماد المخططات التنموية واتخاذ مشاريع نموذجية بالإضافة إلى إحداث عملية تتبع المخططات التنموية و التنسيق بالمعاليق بعد ذلك اشار إلى ان المشروع الثاني سيساهم لا محال في دعم وتحسين أداء المصاح المختصة بالعمالة من اجل مواكبة الجماعات الترابية خاصة الفرق التقنية الجماعية من اجل تسهيل و تسريع وثيرة إنجاز المشاريع عبر إنجاز مشروعين نموذجيين: المشروع الاول ياحدى الجماعات القروية و مشروع اخر يجماعاتي. ثم دعا كافة المتدخلين لتعاون من اجل اتخاذ الاجاز هذين المشروعين و في نهاية تدخله لم يقته تقدم شكره للمديرية العامة للجماعات المحلية و العمالة و السلطات المغربية لدعمها لتفريق الياباني ضيلة إقامتهم بالمغرب.

بعد ذلك اعطى السيد العامل الكلمة لممثل حلية تتبع المخططات التنموية و التنسيق الذي قدم عرضا كاملا و مفصلا حول المشروع و الذي هم : السياق الخاص الذي جاء فيه المشروع الثاني للشراكة و التعاون، اهدف العام و الخاص، بالإضافة إلى النتائج المنتظرة منه، كما اعطى شروحا حول نظام القيادة مع جميع المتدخلين فيه قبل ان يقدم الأنشطة المنجزة خلال السنة الاولى للمشروع و مخطط العمل لسنة 2015 مع بعض التغييرات التي هت الاطار المنطقي للمشروع(النتيجة :) قبل ان يختم بتقديم اقتراحين من اجل تحديد المشروع ليجماعاتي.

بعد تدخلات بعض رؤساء الجماعات المستفيدة من المشروع الاول خلال الفترة الممتدة من 2009 2012 و الذين اثنواو بالدعم المقدم من طرف الوكالة اليابانية لتعاون الدولي، نوه السيد ممثل مديرية التخطيط والتجهيز بالمديرية العامة للجماعات المحلية بالسيد العامل و المكتب العام للعمالة على جهودهم المبذولة من اجل دفع و تفعيل الانفاقية مركزا في تدخله على تقوية الحكامة المحلية بتقوية القدرات مع وضع البات لإيجاد المشاريع مع ضرورة توثيق التجربة لجعلها نموذجا لتعميم فيما بعد، كما ذكر بأن المديرية العامة للجماعات المحلية تبقى دائما حاضرة في دعم و اجاز المشروع كلما دعت الضرورة لذلك.

وبعد مناقشات مستفيضة، تمت المصادقة على برنامج العمل لسنة 2025، كما تم اختيار المشروع المجتماعي و المتمثل في "دعم المحافظ الاقليمي لتدبير النفايات المنزلية و المماثلة ها" فيما يخص الشئى المتعلق بتقوية قدرات المصاغ المعنية لجماعات الترابية و الجمعيات من اجل تحسيس السكان على الحفاظ على بيئة سليمة في الاحياء السكنية و تدوير على مستوى كل جماعى و شق اخر بهم تحسيس المجالس الجماعية على ضرورة خلق مجموعة الجماعات في مجال تدبير النفايات المنزلية و المماثلة ها.

وفي الختام أكد السيد العامل على ضرورة تمكين الجهود المبذولة لتواصلة التعاون من اجل المساهمة في تحقيق التنمية بالإقليم: باعتبار ان حجم الترهاتات و التجهيزات التي تنتظر الاقليم الذي أصبح مقرا بجهة درعة-تافيلالت كثيرة تستوجب مضاعفة هذه الجهود لتلبية الحاجيات الملحة و الترفارات الساكنة، مع تعميق النقاش و تبادل الأراء بين كل الشركاء و الفاعلين من أجل استحضار أبرز المعوقات و الاقتراحات، وكذا الحلول التوجيهية في أفق تحقيق تنمية انقروية في تناغم مع المعاربة التشاركية التي أصبحت إحدى الخدمات الأساسية في مجال تدبير المشاريع التنموية.

الرشيدية في:.....

CELLULE DE SUIVI DES PLANS
DE DEVELOPPEMENT ET DE COORDINATION

LISTE DES PARTICIPANTS AU COMITE DE PILOTAGE DU DEUXIEME PROJET
DE COOPERATION AVEC LA JICA : 27/05/2015
« Renforcement des capacités en développement rural dans la Province d'Errachidia »

	Nom et prénom	Service et qualité	Tél/E-mail
1	Ali ou DAIDA	Secrétaire général C.A.P. Focologie rurale	[REDACTED]
2	AMMO MEMMOU	Dir. Agence urbaine	
3	Yestaf Nouroufi	DRPTE d'Errachidia	
4	Mohamed Moutari	SPERZ d'Errachidia	
5	Samia MANSOURI	DPERFUC Err.	
6	M. FLEWINGH EL KHAYAT Enquête	Représentant du Comité consultatif	
7	Krimou Abdolhader	« Hadifet » et P. U chef de service	
8	AMEL KARO KHARIK	RELATION CULTURELLE	
9	Louab Moudil	Rel. Cult. Tourisme	
10	Khououdi M. BOUREK	Vice Président du Comité	
11	Abbas BENDJEDD	Dir. Agence urbaine et rurale Errachidia	
13	Khalil Toumouli	Dir. Agence urbaine	
14	Mohamed Aboucheja	Dir. SERS/ORT/AT	
15	Boudache Heniam	Municipalité d'Errachidia	
16	Abdelouahab Abou		
17	Hassouli Ali	Agence F.A.P.	
18	M. Y. Abdoulhamid ALANSOU	Unité de suivi de la Comm. d'A.S.P.	
19	Abou Moudil	Unité de suivi de la Comm. d'A.S.P.	
20	Hamid NOUARI	Agence de développement social (A.D.S.)	
21	Lothar en Gu Traoui	Le p. le. directeur de l'Unité	
22	OMAR Boudouh TROU	CA d'Errachidia P. U	

CELLULE DE SUIVI DES PLANS
DE DEVELOPPEMENT ET DE COORDINATION
2011

LISTE DES PARTICIPANTS AU COMITE DE PILOTAGE DU DEUXIEME
PROJET DE COOPERATION AVEC LA JICA : 27/05/2015
« Renforcement des capacités en développement rural dans la Province d'Irrachidia »

	Nom et prénom	Service et qualité	Tél/E-mail
23	Latheoui Nestophe	Adm. DCL	
24	Latheoui Bouayad	DCL	
25	LAHCEN AZMI	Président C.R. (Gris) El. Oulmi	
26	EL KASSIM Ahmed	S.G. C.R. Oued Naam	
27	Hamad Chadli	S-Vice Président C.R. N.A.S.	
28	Hamouza Oulmi	DUE	
29	SABD BATAV	C.R.F.O	
30	HADJIBI ABDELKADIR	De province	
31	Youssef Hamadou	Pacha ERREKHA	
32	Zegniagh Tanik	chef DAS	
33	Ahmed NAJEM	Pacha ville Tinejdal	
34	Karim GASEMY	chef centre Efqra	
35	Abd LARBI	chef centre ERREKHA	
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			

CENTRE DE SUITE DES PLANS
DE DEVELOPPEMENT ET DE COORDINATION
11-111

LISTE DES PARTICIPANTS AU COMITE DE PILOTAGE DU DEUXIEME
PROJET DE COOPERATION AVEC LA JICA : 27/05/2015
« Renforcement des capacités en développement rural dans la Province d'Errachidia »

	Nom et prénom	Service et qualité	Tél/E-mail
44	MACHMOUZE Machmouze	ESM R. La C. R.	
45	SABDI K- Mohammed	Service Rég. de l'Environnement	
46	Abdeslamane Madjid	C. U. ARIFOU	
47	El Hassan Kammir	Président C. R. Souflet	
48	Sekou OUMMA DOUCI	Président C. R. Souflet	
49	Kich Khelid	Président C. U. Boula	
50	Abdelkader Zaïm	Président de C. R. E	
51	Imad Housni Aïoun	Service Présidence C. R. B. M. S. Messouf	
52	Mohamed BOUJARI	Service Général C. R. E	
53	BOUSSOUF T. C.	Président C. R. E	
54	MORSA KASSI	PRÉSIDENT	
55	ASMOUH L. S.	Ent. N. R.	
56	ELATI ELAÏM	Président C. R. E	
57	Choukri Hamed	OUVRIER	
58	Mustapha EL HADJI	Dlg J/At sports	
59	Bouiss Abdelhak	chef C. R. E	
60	Abou ABET ZOUF	Président C. R. E	
61	Hamad Bourekou	Président C. R. E	
62			
63			
64			

CELLULE DE SUIVI DES PLANS
DE DEVELOPPEMENT ET DE COORDINATION

**LISTE DES PARTICIPANTS AU COMITE DE PILOTAGE DU DEUXIEME
PROJET DE COOPERATION AVEC LA JICA : 27/05/2015**
« Renforcement des capacités en développement rural dans la Province d'Errachidia »

	Nom et prénom	Service et qualité	Tél/E-mail
65	SAADA Mohamed	AMAZO	
66	HAKIM AHARON	Président conféd.	
67	Mohamed Djerm	AMAZO - Errachidia	
68	Dr Rachidi Nostephia	SANTÉ	
69	ABIZ Khalid	AMAZO	
70	DR Iouett	chef Centre Régional	
71	SAKAMOTO Noriko	Présidente adjointe du Comité de la JICA au Maroc	
72	WAKAYASHI Moroharu	Chef de Bureau de la JICA MAROC	
73	TOUTI Mohamed	chef Amis de l'ADE	
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			

KINGDOM OF MOROCCO
MINISTRY OF INTERIOR
WILAYA OF THE REGION DRAA-TAFILALET
PROVINCE OF ERRACHIDIA
GENERAL SECRETARIAT
DCL / -CPPDC-

**MINUTES OF THE 2nd MEETING OF THE JOINT COMMITTEE OF COORDINATION ON
THE PROJECT OF ENHANCING CAPACITIES IN RURAL DEVELOPMENT IN THE
PROVINCE OF ERRACHIDIA**

Under the second cooperation and partnership project, the tripartite agreement between the province of Errachidia, the Directorate-General for Local Government –DGCL- and the Japan International Cooperation Agency –JICA-.

The second meeting of the JCC was held on 25 January 2017 under the effective chairmanship of HE The Wali of the Region DRAA-TAFILALET, and governor of the province of Errachidia at the headquarters of the Wilaya and was devoted to the presentation of the Progress and prospects of "THE PROJECT OF ENHANCING CAPACITIES IN RURAL DEVELOPMENT IN THE PROVINCE OF ERRACHIDIA"; And this in the presence of:

- Mr. The Secretary General of the Wilaya
- Mr. Representative of Rural Development Department of JICA in Japan
- Mr. Representative Residing in JICA Morocco
- Ms. The deputy of Representative Residing in JICA RABAT.
- Ms. Representative of the Planning and Management of Equipment DPE / DGCL
- The Agents of Local Authority
- Presidents of Territorial Collectivities
- The Chiefs of External Services
- The Chiefs of Divisions in Secretariat General.

In his speech, Mr. Wali welcomed all the assistants and thanked them for their presence and participation in this committee meeting, which aims to facilitate communication and coordination between actors working for the Development in the province, focusing on the important missions of the committee.

He also reminded the assistants of the main results of the first convention and asked all actors and officials to redouble their efforts to meet the ceaseless expectations of the citizen.

He then gave the floor to the resident representative of JICA in Morocco who thanked and expressed his deep gratitude to the competent authorities and the local government for their support and assistance to the JICA team.

On this occasion, the Moroccan side and the Japanese side agreed on the following points for an effective implementation of the project:

1. The project progress

The JICA team presented the progress of the project, which participants were generally satisfied with.

2. Changing Project Circumstances

The intervention of the Moroccan party was focused on recent changes applied in particular; the region DARAA TAFILALET instead of the region MEKNES TAFILALET, as well as the attachment of CPPDC to DCL and the new laws that replace the plan of communal development (PCD) by the communal action plan (PAC) in the territorial communes.

3. Reframing the project

In view of the changing circumstances and the remaining short period of the project, both parties considered it necessary to accelerate the implementation of the activities in line with the initial objective of establishing a Supporting system to communes in rural development.

In this regard, the two parties discussed and validated the following points:

- 1) Clarify the mission, function and responsibility of the CPPDC and strengthen it by permanent staff
- 2) Support the communes through the CPPDC for the implementation of their PAC
- 3) The technical support of communes by CPPDC for the implementation of projects in their PAC
- 4) Increase the number of communes from 1 to 5 to expand the range of accumulated experiences and further strengthen the CPPDC's capacity;
- 5) Establish a program of practical training consistent with government policies jointly with the DGCL and in cooperation with DRH;
- 6) Conduct training in Japan for the CPPDC on its main task of providing technical support to communes in the implementation of projects. Meanwhile, JICA will invite the Wali and the Secretary General to present the ways in which the Japanese provincial authorities support the municipalities;
- 7) Convene a meeting of communes once a year, to be organized by the CPPDC to monitor the progress of the PACs and to exchange experiences and good practices;
- 8) Assist communes to find partners and fund-raisers.

4. Modifications to the PDM

Both parties accepted the changes made to the project Design Matrix / PDM

5. Discussions

The speakers of the Moroccan side made observations such as:

- Integrate the environmental dimension into the PAC
- Support communes for the collection of household waste
- Assist small farmers in the production of dates by strengthening their capacity
- Clarify the difference between PCD and PAC.
- Extend the project to all communes, including urban communes, and extend its duration.
- Appreciations of JICA's support by the presidents of the communes benefiting from the projects carried out.

The Japanese side appreciated the remarks and comments, and provided some clarification as follows:


- The objective of this project is to strengthen the CPPDC's capacities to "effectively assist the communes in terms of planning, implementation, monitoring and evaluation of development projects".
- Three pilot communes have already been selected, but two others will be selected by the provincial authorities.
- It is very important to discuss and clarify project activities in detail in order to achieve the expected results in the long term.

6. Action to be taken


To carry out these activities, the two parties agreed on the following points as the premises for the implementation of the Project:

- Review and clarify the functions of CPPDC.
- Assign the necessary number of permanent staff to the CPPDC for the completion of its tasks.
- Organize regular meetings for the good progress of the Project.

Errachidia, 25th January, 2017

The Moroccan Side. 

Signature

The Japanese Side. 



Wali Région Drâa-Tafilalet
Et Gouverneur
de la Province d'Errachidia
Mohamed FANID



For the Team Leader
JICA

Massamba GUEYE

ATTACHED DOCUMENTS

- . Report on the reframing of the project for the remaining period
- . PDM of the project
- . List of Participants

The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia

Refocusing of the Project in the Remaining Period

JICA Project Team

1. Preamble

The purpose of the Project is to establish a system to support communes for rural development. This system will rely on CPDC established at the provincial level to monitor development plans and support communes in their development. The present situation is analyzed after CPDC was officially positioned under DCL and the number of communes to implement the Pilot projects raised from 1 to 3 priority communes in order to accumulate experiences and further strengthen capacities through the implementation and monitoring of a fairer number of communal projects. To reflect these new changes and taking into consideration the new laws regulating local collectivities, the activities in the remaining period of the project are rearranged in line with the original purpose and to empower CPDC further. The said activities are presented in the sections of this report as follows.

2. Support for PAC Formulation

Since PCD was changed to PAC, communes will plan and implement projects based on PAC. They should therefore formulate PAC, and CPDC is expected to support the process of PAC formulation and follow up its application. This support to communes will be in accordance with the PAC formulation guideline now on the making through training to increase understanding, meetings to clarify notions and/or advice by telephone. After the formulation of the PAC, CPDC should continue its monitoring.

PAC was designed under a new law in 2016 and consists of a development plan set for 6 years, which includes needs of the commune, its potential, priority, resources and the budget to be allocated for the execution of the plan. The basic idea of PAC is said to be the same as PCD, and DPE is making a "PAC Formulation Guideline" through an external support.

At this stage, CPDC must collect the required information on PAC or its formulation and answer questions of communes that might have some.

Although training in PAC and project formulation and management was carried out between November and December 2016 for most of the communes ETC(s) in the province, demands to extend training in PAC for presidents, the decisions makers, and demands for various other training are high, suggesting that capacity of commune officials will not be developed in a short term. Hence, a system to carry out training continuously should be established in line with government policies, further cooperating with DGCL at the central level and DHR in the province.

3. Support for SPP Undertaken in Target Communes

The initial plan of the Project targeted just one commune as a support for SPP, and Ferkla El Oulia

The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia

was selected due to high potential. For this commune, the project team has supported realization of a sports complex based on the request from the said commune. But the 2 communes of Touz and Rissani were added as targets because experiences to support communes for development projects are not yet accumulated enough. However, experiences should be accumulated more and capacity built further; hence, the Project will target few more communes for SPP support.

Furthermore, it is assumed that it is difficult for some communes to implement projects by themselves alone due to mainly budget limitation. The support for that is also an important role of CPDC. Therefore when the case arises, communes should consult with CPDC, and CPDC should provide services. Actual supports would mainly involve preparation processes such as the introduction of supports and subsidies of donors and government agencies, information collection for similar projects, supports for documentation of project sheets and application forms, etc. Since resource organizations will usually manage project implementation, CPDC will support monitoring and evaluation during implementation, and management after completion if necessary. Necessary tools for such supports would be done through the provision of supporting agencies list, samples of project sheets and application forms, etc., among others.

4. Training for Communes

The other important role of CPDC is capacity development of commune officials. Although the decentralization process has progressed through the new laws, there is little chance for commune officials for training, and capacity development requires a lot of time; hence, activities for that are important. CPDC will coordinate these activities and establish a training system of commune officials.

Since there was change from PCD to PAC, and there were many requests from communes on project formulation and management, the Project supported implementation of training in November to December 2016 for communes belonging to the areas of Errachidia and Erfoud, cooperating with DCL, DHR and DFCAT/DGCL. The same training for the remaining Goulmima area is planned in January 2017 or early February. DHR says there is quite a high demand for training; hence, the Project shall continue to support the training plan for continuous capacity development of communes that is designed by DGCL for DHR to carry out.

5. Training in Japan

As for the Training in Japan, the curriculum in 2015 focused on decentralization, regional linkage for special works, Japan local administration, waste management, and so on, mainly considering the Inter-Commune Project. However, the end of the Project is approaching in just about 14 months and a new direction to strengthen communes through CPDC is launched. Hence, the coming training

No.	Status
1	Wali
2	SG
3	Head of DCL
4	CPDC Chief
5	CPDC Member 1
6	CPDC Member 2
7	In charge of projects/Division in Provincial Council
8	DPE or DGCL (Central level)

The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia

in Japan will focus on a core task of CPDC, which is a support for communes on project implementation. Provinces in Japan have divisions to support local administrations. Recently, the divisions established regional centers and provide services like financial support for commune's projects and advisory services to facilitate development. Participants can learn such activities. Candidate participants at present are shown in the table above.

6. Schedule

Tentative schedule of activities explained above is shown in the figure below.

Activity	2017												2018	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
1. Support for PAC Formulation														
1.1 Information Collection														
1.2 Support for Communes														
2. Support for SPP Undertaken in Target Communes														
2.1 Explanation to Additional Communes														
2.2 Provision of Supporting Agencies List														
2.3 Sample Document Compilation														
2.4 Support for Communes														
2.5 Wrap-up Workshop														
3. Training for Communes														
3.1 Review of Demands														
3.2 Plan Making														
3.3 Support for Implementation														
4. Training in Japan														

Project Design Matrix

Version 3, Proposed on 2017 Jan. 25

Project Title: The Project for Enhancing the Capacity for Rural Development in the Province of Errachidia

Implementing Agency: General Direction of the Local Authorities (DGCL), Ministry of the Interior /

Office for Promoting Development Plan and Coordination (CPDC), Province of Errachidia

Target Group: Officials of Errachidia Province, local communes and civil society related to Implementation of PCD

Period of Project: 3 years and 6 months (October 2014 - March 2018)

Project Site: Province of Errachidia

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal			
Supporting mechanism of planning and implementing communal and inter-communal development projects, developed in the Province of Errachidia is applied to other provinces in the Draa-Tafilalet Region.	1) One or more provinces in the region organize exchange visits to Errachidia to learn about their experience. 2) At least 1 province in the region creates a CPDC to support its communes.	1) Projects report of Errachidia Province 2) Interview to DCLs of provinces in the region	
Project Purpose			
Capacity of communes in terms of planning, implementing, monitoring, evaluating and funding for development projects is strengthened through coordinated efforts of CPDC in Errachidia Province.	1) More than 60% of communes admit their capacity for development projects is improved through project activities. 2) More than 2 communes find financial source for development projects due to support of project activities.	1) Survey result 2) Project document	Policies and orientations of the government of Morocco on the advanced regionalization (La Régionalisation avancée) are not significantly changed.
Outputs			
1. Coordination system by CPDC among external services and divisions of the province is strengthened to support communes in the process of planning, implementation, monitoring and evaluation of development projects effectively.	1) Consultation committee meetings are held twice a year. 2) CPDC is officially positioned in the government structure.	1) Minutes of meeting of the consultation committee 2) Project document	
2. Supporting system of the province through CPDC is strengthened to enable communes to implement development projects following the PDCA (Plan, Do, Check, and Action) management cycle.	1) CPDC can support formulation of PAC for 5 communes/year. 2) CPDC can conduct seminars and trainings for 100 participants/year.	1) Project document 2) Project document	
3. Management capacity of CPDC is strengthened to enable to implement inter-communal projects.	1) CPDC can conduct seminars and trainings for 60 participants/year. 2) CPDC can conduct a technical visit/year to an inter-communal project.	1) Project document 2) Project document	

Activities	Inputs		Important Assumption
	(1) Input by JICA	(2) Input by the Province	
<p>1-1 To propose operational procedures for technical services and divisions to be involved in the development project</p> <p>1-2 To coordinate a meeting of Provincial Technical Committee (CTP) for establishment of a consultation committee for communal development</p> <p>1-3 To establish the consultation committee to assist communes in implementing development projects</p> <p>1-4 To hold the consultation committee meetings regularly</p> <p>1-5 To monitor technical assistance of the consultation committee</p> <p>1-6 To clarify and review the tasks and missions of the CPDC for bottom up communal development</p>	<p>(a) Dispatch of Experts - Team Leader / Organizational Management - Regional Development / Planning, Follow-up, Monitoring and Evaluation</p> <p>(b) Training The detailed plan of training in Japan or other countries will be determined later.</p> <p>(c) Machinery and Equipment The detailed list of machinery and equipment to be provided will be determined later.</p> <p>Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and the Province during the implementation of the Project, as necessary.</p>	<p>(a) Services of the counterpart personnel of JICA Experts administrative personnel;</p> <p>(b) Suitable office space with necessary equipment;</p> <p>(c) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the equipment provided by JICA;</p> <p>(d) All the necessary measures for implementation of the Project;</p> <p>(e) Expenses necessary for transportation within Morocco of the equipment as well as for the installation, operation and maintenance thereof</p>	
<p>2-1 To select a target commune</p> <p>2-2 To clarify the role of the communal organizations in charge of planning and implementing communal projects</p> <p>2-3 To support the formulation of commune development plan (PCD) and/or Action Plan and monitor its implementation</p> <p>2-4 To hold annual meeting for PAC follow-up by CPDC</p> <p>2-5 To select additional target communes</p> <p>2-6 To select pilot projects in target communes</p> <p>2-7 To support the target communes to secure budget for pilot projects</p> <p>2-8 To conduct training course on management of the development projects based on PDCA to persons concerned in province and communes, and establish training system to support communes</p> <p>2-9 To support elaboration of the implementation plan of the pilot projects</p> <p>2-10 To monitor the pilot projects</p> <p>2-11 To examine the pilot projects periodically by the consultation committee</p> <p>2-12 To evaluate the pilot project</p> <p>2-13 To analyze lessons learned of the pilot projects</p> <p>2-14 To organize seminars on implementing PCD and/or Action Plan following the PDCA methodology</p> <p>2-15 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Draa-Tafilalet Region</p>			<p>Pre-Conditions</p> <p>The Governor assigns the enough number of active personnel concentrating to promote PCDs and their budget in Errachidia Province.</p>
<p>3-1 To analyze relevant cases and laws to the inter-communal projects</p> <p>3-2 To select a pilot project</p> <p>3-3 To clarify the role of related entities and institutions to the inter-communal project</p> <p>3-4 To make legal arrangements for inter-communal project stipulated in the Communal Charter</p> <p>3-5 To conduct training course according to the target pilot project to persons concerned in province and communes</p> <p>3-6 To conduct technical visits for good practices of inter-communal projects</p> <p>3-7 To organize seminars on capacity development for an inter-communal project</p> <p>3-8 To organize technical exchange to introduce good practices to the other provinces in the Draa-Tafilalet Region</p>			



Liste des participants au comité de pilotage mixte dans le cadre du projet de renforcement de compétences en développement rural à la province Errachidia

25 Janvier 2017

	Nom et prénom	Organisme/position	Adresse e-mail	Téléphone
1	Touhami Elhachoua	Jeune fille président Commune Aoufous		
2	Khebbi Nolia	C. R. Taalij krauste Jouhnina		
3	MIMMOU AHMED	Représentant de l'agriculture		
4	EL BOUSEKRI Mohamed	Commune ER-RISANI		
5	Amar BAKA BSA.	Commune ER-RISANI		
6	OUYAH/A HANOU	Commune Sidi Ali		
7	Dehassen Abdelrahmi	Commune Waan (président)		
8	LAFDICI MUSTAPHA	pres. Commune Boudou.		
9	Kamal El mouquaddam	SG/ABH/GER Errachidia		
10	ABDELLAH LAATIRIMI	Direction de l'Artisanat		
11	LAHSEN ECHARFY	Directeur régional de la Culture		
12	Rahmani Ned	Directeur Général Région DARA Tafilalet		

	Nom et prénom	Commune/position	Adresse e-mail	Téléphone
13	Abdelhak M. Med	Commune Ennakhla		
14	ASMOUH Beahli	Entreprise Matrouha		
15	Rkia Ouidani	D.P. Tourisme		
16	HAMMOU Azzag	C.T. Mellag		
17	RAMCHOUN Youssef	ONEE - Branche Eau Ennahdha		
18	Zaim Abdelhak	Président de la Union Sefelt		
19	Abdel Bouzouk	Municipal C. T. Taz		
20	Soufian HANSOURI	Direction Provinciale Ressources Forêts		
21	MOUSTAFA Zakaria	ANDZOA /DT-Entmd		
22	Brahim OUSADAN	C.T. DARTER		
23	LHASSMED ELAMRANI	Président. C. S. S. F.		
24	Abdeslam Berji	Président Arfon		
25	MY SALAM ISMAÏL	D.S.C AREAD		
26	Hamid DIMOU	Commune Ferkh EL Ouh		

nom et prénom	Commune/position	Adresse e-mail	Téléphone
LAMIRATI TOUHAMI	Président de la commune Hidoghra.		
28 ELKHOULAISSAOUI	Le vice de président de LA Commune d'ELKHENEG		
29 Moudjahid Foulioui	DAI		
30 Hamidi	DC		
31 HAMMOUCHE	DUE/wilaya		
32 EL Mehdihaoui	DRH/wilaya		
33 Azaoui Omar	DAI/wilaya		
34 AZIZ CHAFIK	Patron de Gribou		
35 med LABIL	chef cercle BACHMA		
36 TOURIBASOUICH	chef cercle Rixou		
37 Moudjahid ELAMIRATI	chef cercle L. H. H. H.		
38 Binoussa Abdelmalek	chef cercle Goulma		
39 El Pacha	El Mouloud		
40 My Touhami Hafsi	DAEC		

	Nom et prénom	Commune/position	Adresse e-mail	Téléphone
1	OKUDA Hisakatsu	directeur adjoint département développement ministère JICA Tokyo		
42	TOJIMA Hiteshi represento	representant Resident JICA RABAT		
43	Naoko SAKAMOTO	adjointe du representant Resident JICA Rabat		
44	Liodae Abbelkhaliki	DPE / DCC		
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
4				

貸与物品リスト
List of Property Lending

業務名称 (Name of Project) : エルランディア県地域開発能力向上プロジェクト (2018年7月現在)
 対象国 (Country) : モロッコ国 (As of July, 2018)
 事業担当部課 (Division in Charge) : 農村開発部

物品名称 (Name of Property)	規格・品番 (Standard, Part Number)	個数 (Quantity)	取得価格 (Purchase Price)			検査合格日 (Date of Inspection Passed)	配置場所 (Location)	現況 (Current State)	備考 (Remarks)	事業終了後の 取扱い (After Completion of Project Handover/Return)
			取得価格 (Purchase Price)	通貨 (Currency)	日本円換算 取得価格 (In Japanese Yen)					
ノートPC	HP Pavilion 15 Notebook PC	1	7,560	MAD	94,402	2014年11月1日	エルランディア県	稼働中	経年劣化により不調	実施機関に譲与 譲与手続完了日: 2018年6月25日
プリンタ複合機	Canon ImageRUNNER 2520	1	17,400	MAD	214,629	2015年2月12日	エルランディア県	稼働中	経年劣化により不調	実施機関に譲与 譲与手続完了日: 2018年6月25日
デスクトップPC	HP Pro3500 G2 MT PC	2	11,088	MAD	136,770	2015年2月12日	エルランディア県	稼働中		実施機関に譲与 譲与手続完了日: 2018年6月25日
【以下、JICAから貸与されている物品 (Property Lent by JICA)】										